

会長のページ	九医連総会・医学会参加	河野	雅行	3
COVID-19報告	新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（9月14日現在）	吉田	建世	4
日州医談	医業承継を考える	山村	善教	6
随筆	Saudade サウダージ	林	透	8
	日付変更線通過記念証－転居異聞（その3）	森	憲正	10
	寒中に植えた春の花	友成	久雄	13
	各地巡りの同窓会	内田	攻	14
エコー・リレー（542）		岩崎 直哉,	河原 勝博	19
メディアの目	特別な夏を越えて	若松	健一	20
宮崎大学医学部だより（解剖学講座 組織細胞化学分野）		菱川	善隆	28
部会だより（病院部会・医療法人部会）		相澤	潔	29
診療メモ	閉塞隅角緑内障における禁忌薬剤について	日高	貴子	66
宮大医学部学生のページ	研究室配属について	桑山	英華	68

ベストセラー	15
第120回九州医師会総会・医学会のご案内	17
あなたできますか？（令和元年度医師国家試験問題より）	18
表彰・祝賀	21
宮崎県感染症発生動向	22
各郡市医師会だより（児湯医師会，西都市西児湯医師会）	24
各種委員会（医学会誌編集委員会）	31
九州医師会連合会第386回常任委員会	32
日医インターネットニュースから	34
医師協同組合だより	36
医師国保組合だより	38
会員の異動・変更報告	40
理事会日誌	42
県医の動き	46
ドクターバンク情報	47
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
あ と が き	74

お知らせ 「新春随想」原稿募集	16
医療勤務環境改善支援センター	30
日本医師会生涯教育講座参加証配布の停止について	31
医療事故調査制度相談窓口	41
クールビズの実施について	45
日州医事へのご意見・ご感想	51
医師資格証を持ちましょう	65
郡市医師会への送付文書	70

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

秋の響き

晩秋の日暮れ前の冷風に揺れているススキ景色をしばし眺めていましたら、93才までのいろいろな思い出が懐かしく甦ってきました。深く心に染みた風景をこれまでに感謝しながら描きました。

日南市 谷口 浩子

会長のページ

九医連総会・医学会参加

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

本年11月28日～29日に九州医師会総会・医学会が宮崎で開催されます。8年に一度の当県開催ですので昨年より鋭意準備を進めておりましたところ、年始めからのコロナ騒動で予定が大幅に攪乱されて、止むを得ず例年とは形態を変えての開催としました。九州医師会医学会は昭和になってからは太平洋戦争時に中止になった以外では連続して続いている伝統ある医学会であり、総会などの重要な行事も同時開催されますので中止することはできません。興味深い記事がありました「他の疾患や事故に比べても、コロナに拠る死亡者は少ないので、経済・社会活動に特段の制限は必要無い」（杓村秀樹：東洋経済2020年8月20日）。確かに経済・社会に大きな負の影響を及ぼしているため、この考えは理解できます。しかし、我々医療人としては、現状下において十分な対策を講じないわけにはまいりません。そこで開催のあり方を検討した結果、27日の前日行事は中止としました。28日総会行事などは健康・安全面を考慮して、人数制限のうえ広い会場で間隔を確保し短時間開催、TV会議システムやインターネットを併用、決議事項などは書面決議としました。28日～29日に予定された11の分科会、6の記念行事については各部門の責任者と執行部で相談し、記念行事は県境を跨いで参加が困難であり競技などは密になりがちなので、全部中止となりました。分科会はTV会議システム等でも可能ではありますが、単位取得の条件もあり苦慮されたようです。結果は4つの学会が中止、残りは開催方法を工夫して実施します。総会関連はTV会議システム等での開催としました。主会場は予定どおりシーガイアコンベンションセンターを使用します。会場には県医師会役員や開催される分科会関係者を主とした県内会員のみの出席となります。会場と各県医師会をTV会議システムで連結し、中川日医会長のご講演は日医からのLive配信で、ご来賓挨拶については県内からは会場で、県外からはTV会議システムでお願いしております。講演会について水光先生と徐先生には主会場でご講演していただき、TV会議システム等で発信します。このような事情で、皆様に総会や医学会特別講演等への直接ご参加を積極的にお願ひできなくなりました。一堂に会しての会議に勝るものはありません。初めての方法であり、手順や費用などは未知数ですが、何とか開催することにしました。大きな社会問題となっているコロナ騒動も、近い将来には終息するでしょう。今回会場に参加できなかった先生方は、8年後の次回宮崎開催の際にはこぞってお集まりいただきますようお願いいたします。

(令和2年9月14日)

COVID-19報告

新型コロナウイルス感染症に係る
県医師会の動き（9月14日現在）宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的にはまだ第2波の中にあるが、「新型コロナウイルス感染症対策分科会」は8月21日には「全国での感染拡大はピークに達し、一部の地域では新規感染者数が緩やかに減少し始めている」との見方を示していて、幾分感染拡大は落ち着きを見せている。宮崎県でも最近では新規感染者がゼロの日が増えてきている。

今後は、秋以降のインフルエンザ流行期において、インフルエンザの症状が、臨床的には、新型コロナウイルス感染症と鑑別することが困難であるため、医療現場での混乱が予想される。そのための準備として、インフルエンザのワクチン接種は当然推奨されるべきであるが、それに加えて、今後、新型コロナウイルス感染症の検査体制の強化が必要不可欠となってくる。

日本医師会は、去る8月5日に『新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大を見据えたPCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言』を発表している。特に地方にとって賛同することは、「3. PCR等検査に係る検査機器の配備」で、「全国各地にPCR検査機器を大幅に増設すること」と「5. 公的検査機関等の増設」で「各地域に公的検査機関等を増設すること」である。ぜひ実現に向けて、国に対し強力に要望していただきたい。

宮崎県医師会としては、それ以外にも日医に要望を挙げている。ひとつ目は、インフルエンザ流行期に新型コロナウイルス感染症との鑑別

の意味においても、医療従事者の新型コロナPCR検査などの公費負担導入を考えていただきたい。このことで、医療従事者が安心して診療に臨める体制が確保され则认为。そのほか、PCR検査試薬の確保、インフルエンザと新型コロナの同時検査キットの確保と、その検査時のPPE（個人防護服）の確保、保険適応検査時の「HER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム）」の報告項目の簡素化を要望している。

9月14日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

8月21日 妊産婦寄り添い支援事業の実施に向けての打合せ（濱田副会長、嶋本理事）

そのほか、常任理事協議会、全理事協議会、六役会などにおいて協議を重ねている。

2 日本医師会からの情報収集

8月18日 日医新型コロナウイルス感染症対策本部会議【日医TV会議】（会長）

8月27日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

3 会員への情報発信等

① FAXニュースの発信

8月5日	FAXニュース№462 新型コロナウイルス感染症への対応について (33) ・延岡市でクラスター、延岡市・西臼杵が「感染状況が厳しい圏域」へ ・(※宮崎市以外) PCR・抗原検査の保険適用検査について
------	--

4 マスク、手指消毒用エタノールなどの確保と配布

主に各郡市医師会を通じて新型コロナウイルス感染症対策に必要な医療機関に配布を行っている。なお、国支給分については需給が改善したとのことで終了となる予定です。今後は各医療機関で確保、備蓄をお願いします。

8月17日	アイソレーションガウン (17,500枚) 【国支給】	9月14日	フェイスシールド (6,300枚) アイソレーションガウン (21,300枚) 【国支給】
8月19日	ビオレすっきりシート (2,400個×10枚入) 【花王】		

※その他クラスターが発生した地域に対して、優先的に国支給のサージカルマスク、ガウン、非滅菌手袋の配布を行っている。

5 患者発生状況

1) 感染者数 (8月5日以降)

(人)

8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11
11	9	13	6	7	2	6
8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
5	3	5	6	6	5	19
8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25
6	6	8	4	4	5	0
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1
0	1	3	2	1	1	0
9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8
0	0	1	0	0	0	0
9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	
0	1	2	0	1	1	

※令和2年9月14日 17時現在

2) コロナ感染者の分布 (既退院者などを除く)

(人)

圏 域	市 町 村	9/14現在の感染者数
宮崎市・東諸県郡	宮 崎 市	6
	国 富 町	2
都城市・北諸県郡	都 城 市	1
県外	熊 本 市	1
合 計		10

※令和2年9月14日 17時現在

日州医談



医業承継を考える

副会長 やま 山 むら 村 よし 善 のり 教

最近、県医師会の医療機関を対象とするセミナーで『事業承継について』をテーマに開催されることになっていきます。先日は、日本医師会から都道府県医師会の役員で医療法人立診療所（持分あり）の開設者・管理者およびそれに準ずる人を対象に『医療法人（診療所）における「持分あり医療法人」の「基金拠出型医療法人」への移行に係るアンケート調査』が届き、私もその対象者の一人として調査用紙が渡されました。1992年8月に個人立診療所として開業しましたが、その後、同業者から法人化を強く勧められ、あまり深くは考えずに、ただ、個人立の場合は、自分の病気や死亡のため廃業せざるを得ないときに、一旦閉院して、新しい経営者が新規医療機関として申請し直す必要があるので、スムーズな継承をし辛い面があり、法人立であれば管理者・理事長の変更のみで診療を継続できるという利点に惹かれて2002年4月に法人化しました。その後の自院の経営事務は家内に任せきりで、2006年の医療法改正以降、医療法人制度の非営利性撤廃の趣旨から、「持分あり医療法人」新設が認められなくなり、既存の「持分あり医療法人」は経過措置医療法人として当分の間存続することになったこと、2014年医療法改正において、「持分あり医療法人」から「持分なし医療法人」への移行

促進のため、移行について計画的な取り組みを行う医療法人を国が認定する仕組み（認定医療法人制度）が創設されたことなど、興味もなかったので全く知りませんでした。そのような次第で、末尾に記載しました資料でにわか勉強をしてアンケートに回答しましたが、昨年、古希を迎えていて、本気で承継問題を考えておかねばならず、同世代の方でお悩みの方もいらっしゃると思い、現時点で理解している範囲で診療所（クリニック）承継の問題点を挙げてみます。詳細につきましては末尾に記載しました参考資料をご参照ください。日本医師会総合政策研究機構（以下日医総研）のワーキングペーパーはインターネット検索すると資料が読めますのでご興味がある方はご覧ください。

そもそも医業承継問題が脚光を浴びるようになった背景には、地域医療構想における2025年問題と同じく、団塊世代に属する我々のような現経営者が後期高齢者となり、2020年以降に引退が本格化し、地域住民の生活インフラの危機が招来する懸念があるためで、2018年の日医総研の調査によると病院および診療所の後継者不在率は他の業種よりも高かったようです。また、医療機関の承継において、昨今、親族以外の第三者への承継やM&Aとなる案件が増えており、これらを仲介する一部業者の高額

な手数料や不透明な取引慣行，第三者承継・M & Aを前提としていない現行の法制度や行政の対応などが解決すべき課題のようです。

日医総研では医業承継問題の実態を示すような全国データが存在しないことから，2019年に実態調査を行い，ワーキングペーパーNo.440で報告しています。承継プランを検討するに当たって現経営者が不安に思うことは「信頼できる相談先が見つかるか」，「後継者を自力で探せるか」，「妥当な金額で事業譲渡できるか」などで，これらに対応できる相談先として日本医師会と都道府県・郡市医師会のネットワークがその受け皿となることを提言しています。所在地や人口規模に関わらず，無床診療所の約5割，有床診療所の約4割が閉院を選択肢のひとつにしていたとのことで，現状，診療所の数は漸増傾向にあります，将来的に承継問題が顕在化すれば，日本各地でプライマリーケアの維持・継続が困難になる可能性があり，閉院を考える診療所の内実について，その原因究明を含めて，さらなる調査研究が必要のようです。昨年9月26日に日本医師会館で開催された『医業の第三者フォーラム』では，岡山県医師会や福島県医師会が医院（医業）承継バンクを設置して活動を始めたとの報告があったようです。

実際の診療所の承継については個人立か法人か，持分あり医療法人か持分なしか，有床か無床か，専門は何か，介護施設などを運営しているか，職住一体型か分離しているか，老朽化した建物の改装費はどの位かなど多くの検討点がありますので，個々の事例で充分分析して対応する必要があります。最近，第三者承継をした友人の話では，手書きカルテから電子カルテの移行に苦労したようです。詳細につきまして

は，本年3月に日本医師会から発刊されました下記の冊子『診療所のための医業承継のてびき』がQ & A形式で判りやすく書かれていますので，理解を深めるのに役立つと思います。

私自身につきましては，具体的に引退の時期を決めてはいませんし，後継者もいませんので，可能性があるとするれば第三者承継ですが，職住一体でするので承継後の自分の生活の場をどうするかなども考慮しなければなりません。健康状態が許せば喜寿頃までは細々と診療しようかと思っています。

参考資料

- 1) 日医総研ワーキングペーパー No.422
医業承継の現状と課題 堤 信之，坂口一樹
2018年1月8日
- 2) 日医総研ワーキングペーパー（2020）
No.440 日本医師会 医業承継実態調査
坂口一樹，堤 信之，石尾 勝 2020年1月6日
- 3) Q & A クリニックの事業承継 第3版
TKC全国会 医業・会計システム研究会
クリニック支援委員会編著 2018年8月21日
- 4) 宮崎県医師会令和元年度医療機関経営セミナー クリニックの事業承継について
日本医師会有床診療所委員会委員 青木恵一
2020年2月22日
- 5) 診療所のための医業承継（第三者承継）のてびき Q & A承継のプロセスがよくわかる
第1版 日本医師会監修 2020年3月31日
発刊

随 筆

Saudade サウダージ

宮崎市 さがら病院宮崎 ^{はやし} 林^{とおる} 透

“月刊ラティーナ最終号”！手元に届いたその5月号の表紙を見てあっと驚いた。本邦唯一のラテン音楽専門雑誌ラティーナの休刊である。かの有名なジャズの月刊誌“スイングジャーナル”も10年ほど前にやはり廃刊となっている。これら音楽ジャンルの存続はそのボーダレス化、時代の流れにともなう変化に抗えないのか。音楽媒体の進化や情報の電子化にともない音楽を楽しむ文化そのものの変化による結果でもあろう。紙媒体での月刊誌としては終了し、今後はWebでの提供となるようではあるが、ネットサーフィンの苦手な私にとっては“絶版”も同様である。病理や細胞学の国内学会誌も電子媒体となって以降ほとんど開かなくなってしまった。

ラティーナは1952年に創刊された。私の誕生年であったことにあらためて驚かされた。当初は「中南米音楽」という雑誌名で、私も学生時代何度か購入した記憶がある。渋谷のラテン喫茶にもその雑誌のコマーシャル欄から情報を得て潜入したのであった。このころは全国の学生の間で中南米ブームがあったようで、私が在籍していた鹿児島大学にも学生サークルとして中南米研究会なるものが存在していた。教養部キャンパスの藪のような茂みに隠れるように掲げてあった大きな立て看板にはある種のエキゾシズムを感じたものである。音楽サークルにも“ハーモニカバンド”という大型バンドがありラテン音楽をも盛んに取り上げていた。

ラテンのリズムは小学生のころには耳にしていた。60年代の歌謡曲にはそのリズムが多く取り入れられており、認識しておられない方も多いかと思うが曲調も、使われている楽器もラテンそのものというのが多かった。コンガのリズムに乗った鶴岡雅義と東京ロマンチカの唄声、

彼のレキントギターの音色、まさにラテンである。中学生のころにはこのジャンルは認識してはいたものの好んで聴くようになったのは大学時代である。ダンスミュージックとしてのラテン、メキシコボレロのストリングス演奏、そしてボサノヴァへとその興味も広がっていった。これには70年代のNHK-FMのラテン音楽番組が情報源となった。「ラテンタイム」という番組だったと思う。南米諸国の音楽を国別に紹介していくコーナーもありとても楽しかった。エンディングテーマはザビア・クガート楽団演奏の曲で、トランペットの哀愁漂うメロディーラインはなつかしい記憶として耳の奥に残っている。この曲が好きなりリスナーも多かったようで、いつもは途中でフェイドアウトしてしまうのであるが放送の残り時間に余裕があるときは「では、今夜は最後まで通してお届けしましょう…」という司会者谷川越二の声まで私の思い出には刷り込まれている。その曲は「あなたのそばへ戻るとき」で、スペイン語題はCuando Vuelva A Tu Lado, 英語題は What A Difference A Day Makesである。

大学生時代は同時にジャズも聴くようになり“週刊FM”あるいは“FM fan”片手にオープンリールテープデッキでのエアチェックに忙しかった。講義の合間に、あるいはそれをサボってでもアパートに戻って録音していた。卒業後はジャズ中心となり時流に乗ってフュージョンを聞き流す程度であった。しかし90年代後半にロック歌手グロリア・エステファンの“Mi Tierra”というアルバムでラテン音楽の興味が再燃。これは彼女の祖国（スペイン語でTierra）のキューバを想うもので、このリズムはラテンのボレロである。これをきっかけにスペイン語教室に

通うようになり、一時期キューバン・サルサを習いにも行ったがこちらは全く物にはならなかった…。

ちょうどそのころ国際協力機構JICAの仕事でメキシコでの子宮頸癌細胞診講演、細胞診研修視察を行う機会があった。当地、特にメキシコ湾岸のベラクルスの夜の街ではさまざまなラテン音楽を生で聴くことができた。通訳者に借りたCDで学生のころ聴いていたメキシコ・ボレロのメロディーが蘇り、路上で売られている海賊版のCDにも手を出す始末であった。太平洋岸のアカプルコでは、ホテル隣のミュージックホールから夜遅くまでメキシコ・ボレロの演奏、唄声が聞こえていた。現地のスタッフたちと行った巨大なダンスホールでの演奏もすべてサルサ音楽であった。帰ってからラテンのCDを探し回り、またこのころに購読始めていたラティーナは、病理の学術雑誌よりも熱心に隅から隅まで読み込んだものである。

私はこの雑誌を2004年3月号より定期購読始めた。その号は“ボサノヴァの父”とされるジョアン・ジルベルトの記事で始まっていた。その前年の東京コンサートのレポートである。

ボサノヴァとはその定義が難しく一言では語り切れないもののようである。通常耳に心地よいメロディーラインとリズム、囁くような歌声、という音楽ジャンルのにくられるイメージがあるが、実は50年代にリオのコパカバーナ地区で沸き上がるムーヴメントで、そこに集う若者たち（年齢はさまざまであるが）の活動を中心に一気に広がりを見せた音楽とぼんやりと表現されるもので、ひとつの音楽スタイルではない。歴史的にはジョアン・ジルベルトの右手から繰り出されるヴィオラウオン（ギター）のリズムがひとつの解釈ポイントとなるかもしれない。サンバのリズム隊を凝縮したようなこの8ビートのリズムはジャズボッサの肝となるがこの“ジャズボッサ”はリオよりも首都のサンパウロを中心に同時期にいくつかのグループが試行していたもので、こちらはひとつの音楽スタイルとして捉えられる。

このボサノヴァの勢いある時期はほんの10数

年ほどで、ビートルズの到来によりブラジルでは一気に下火となるのであるが、一方でアメリカに進出した“ボサノヴァ”は当時行き詰まりを見せていたジャズ界の刺激となる。ボサノヴァが生き残ったのは米国そして日本とよくいわれるがそれは既にムーヴメントとしてのボサノヴァではない。

ジョアン・ジルベルトは昨年7月に永眠、「ジョアン・ジルベルトを探して」という映画もロード・ショーされた。最終号表紙に描かれた“Saudade サウダージ”は今ではもうなくなってしまったものへの強い郷愁を意味するポルトガル語であり、ボサノヴァおよびリオを中心としたブラジルの人々のたちの魂ともいわれている。ジョアン・ジルベルトのファーストアルバム「シェガ・ジ・サウダージ」は、最近まで、他のアーティストが演奏すると聴衆はこぞって唄いだしていたということである。ブラジルの有名な作曲家アントニオ・カルロス・ジョビンは多数のボサノヴァのメロディーを残しており、多くの日本人にも、曲名は知らなくてもその耳の奥に刷り込まれていると思われるが、彼の作曲の背景はリオの街、人々の交錯、そして豊かな自然であり、その情景やそれが失われていく悲しみが根底に流れている。まさに“Saudade”である。「イパネマの娘」、「ワン・ノート・サンバ」、「デサフィナード」、「トリステ」、…。

私自身は最近ではすっかりジャズ中心の趣味となってしまった。CDを収めた書架はもはやジャズとクラシックが半分以上を占拠している。自分にとってもラテン音楽は再び郷愁の彼方となっていきそうである。



随 筆

日付変更線通過記念証—転居異間（その3）

宮崎市 もり 森

のり まさ 憲 正

運び込んだ荷物の中から全く記憶にないものが出てくる。その中の一つにJALのマークがついた古びた大型封筒4枚があった。封筒の宛先は半世紀以上も前の住所で熊本市出水町である。留学前後に住んでいた記憶しかなく、現在では土地感も湧かない。2枚は妻宛、他の2枚は筆者宛てとなっている。こんなものをJALから受け取った記憶がない。中身の厚紙にはInternational Date-line Crossing Certificateと印刷してある。こんなCertificateの存在さえも知らなかった。



日本航空発行の記念証（往路）
（1962年8月21日17時19分）



同（復路）
（1964年10月12日16時35分）

往路の記念証には七福神、復路は棟方志功の版画が印刷してある。亡妻が滞米生活の記念の一つとして保管していたものらしい。

前回の「船医日記」（日州医事No.849, p.6）には海路による太平洋横断時の出来事を書いたが、その復路では日付変更線通過時に大時化に遭い、日付変更線通過が強く印象付けられていた。これに比べると空路による通過は瞬間的でほとんど関心もなかった。海路と空路では大きな違いである。

ネットで検索してみると、航空関連グッズとしてオークションに出ている。棟方志功の版画が印刷された記念証は4,800円、七福神の方は2,000円である。安価とはいえ、オークションに出るくらいだから、多少は希少価値があるのであろう。いつごろまで発行されていたのか、日本航空広報部へ問い合わせたところ、『1954年ごろから機内サービスの一環として当該機機長のサイン入りで、実施されていたが、使用機の大型化にともない、搭乗者数が格段に増加したため中止した。1970年代の半ばくらいまでは続けられていたようであるが、正確にいつまで続いたか、調べ切れなかった』という返事をいただいた。1970年代半ばというから、約半世紀前まで発行されていたことになる。

日付変更線についていつごろ、どこで学んだか、記憶がない。中学時代の西洋史や地理の教科書に記述されていたかもしれない。日本と米国の日付がいつも一日違っていることを意識し出したのは真珠湾攻撃の日付であった。

現在の日付変更がいつどのようにして認識されるようになったのか。地球が球形であり、天

体の自転、公転は自明のこととして受け入れられているが、沿岸航法から天文航法へ進歩した大航海時代までは誰も気づいていなかったらしい。世界で初めて日付を変更する必要があることに気付いた時期はいつか、その人物は誰であるかと興味が湧いてきた。

中学時代の歴史で疎覚えながら、地動説を唱えたガリレオ・ガレリイがカトリック教会から宗教裁判にかけられ、異端尋問を受けた後も『それでも地球は動く』と呟いたというのは、1633年といわれている。しかし日付変更の必要性に初めて遭遇し、記録されていたのはその100年も前のことである。

日付変更に最初に気付いたというエピソードには日記が関与していることを知って驚いた。フェルディナンド・マゼランに従ってビクトリア号の西廻り世界探検に加わったイタリア生まれのピガフェッタ (Antonio Pigafetta, 1491–1534) は、1519年スペインを出帆し、毎日欠かさず日記を書き留めて、訪問先の地理、気候、動植物、人々などを詳細に記録している。その航海の終わり近く、ヴェルデ岬諸島に立ち寄ったとき、日記では1522年7月9日水曜日である筈が、ヴェルデ岬諸島では木曜日であることを知り、地球一周による日付のずれを実感した最初の人物とされている^{1), 2)}。現在、世界の船舶には航海日誌 logbook を記録することが義務付けられている。

しかし、この日付のずれを世界的に統一する日付変更線が制定されたのはこのピガフェッタの記録の362年後で、1884年に開催された国際子午線会議まで待たされたことになる。我が国がこの規約を採用したのはその2年後の1886 (明治19) 年と言われる³⁾。

我が国初とされる咸臨丸の太平洋横断は1860 (安政7) 年である。2月4日付変更線を通って西経に入っているが、日本人乗組員の残した日記類の翌日の日付は2月5日のままであり、復路の通過時、西経から東経に入る時の訂

正もなされていない。往復のプラス・マイナスが相殺されているという⁴⁾。国際子午線会議の24年前のことであるので、日付変更の認識がなかったのかもしれない。

大航海時代から世界を跨ぐ交易が開始され、人の行き来も繁くなり、それにともない伝染病が蔓延し、人類の文明や疾病の変化に大きな影響を及ぼした。更に航空機の出現により、人の動きが海路から空路になると疫病の蔓延はスピードを増す。現代版のCOVID-19もその例に漏れない。

現在、世界を席卷している新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の発端は中国の武漢と言われているが、当初我が国で世間の目を惹いたのは英国船籍の豪華客船、ダイヤモンド・プリンセスの横浜寄港であった。豪華客船には船内に豪華な娯楽施設を備え、寄港地の観光など、世界を股に豪華な船旅を長期間楽しめる航海であるが、大航海時代の船旅はそれこそ世界探検であって、船内設備は低劣を極め、トイレもなく、鼠は蔓延り、壊血病に苦しめられた命がけの旅であり、船内生活も悲惨なものであったらしい。そのうえ、梅毒をはじめ多くの伝染病が、世界に拡散した。その予防手段として、必ず、どこの港にも検疫所が設けられている。筆者の船医勤務時、すべての寄港地で接岸する前に港湾沖で投錨し、まず検疫官が乗船して来て乗組員、乗船者の健康状態を調査することを経験した。昔は沖に40日間停泊させて、疫病 (ペスト) を監視したと言われる。医学部学生時代の細菌学の講義で、Quarantineとはイタリア語源で40という意味だと教わった。航空機時代になると人の動きは早くなり、空港には検疫所が設置され、入国する乗客の健康状態をチェックしている。

この記念証のお陰で筆者と家族の渡米日、帰国日が正確に分かり、当時のことがいろいろと記憶に蘇ってきた。記念証の発行日付は筆者の1962年と1964年、妻の1963年と1964年である。

渡米時期は一年違い，帰国時は同じ年ではあるが，妻のは8月9日，筆者のは10月12日となっている。

当時，新鋭機といわれたDC8で出発したが，いまだボーディングブリッジはなく，改札口を出て地上で待っていたバスに乗り，搭乗機の下まで行って，タラップを登って搭乗していた。

外食産業は未発達で，当時の機内食は豪華に見えた。またペーパータオルも珍しく，現在では居間でも，実験室でも当り前のように置いてある箱入りのティッシュペーパーなどは普及していなかった。余程珍しかったのか，食事のトレイに乗せてあるペーパーまで，記念に持ち帰る者も見掛けられた。

往復とも家族とは別行動であった。その理由にもいろいろな思い出が蘇る。筆者の時から妻帯者の留学には家族同伴でなくては教授の許可が下りなかった。その理由は前回の「船医日記」にもあるとおり，一年先輩が留学先で女性と懇ろになって，帰国しなくなり，残された配偶者から帰国を促すよう嘆願されてその対応に苦慮されていたからである。次女が生後間もない時期であったため，長途の旅は無理と判断して，一年遅らせることで許可していただいた。教授からは出発まで何度も一年後には必ず家族を呼び寄せるようにと念を押された。余程，信用がなかったのであろうか。

アメリカ便にはまだ直行便はなく，ホノルルで給油していた。往復とも家族と別行動であったことも，いろいろな経験になった。家族の渡米時はBenson主任教授，直接のボスであったTatum教授からハワイまで迎えに行けと勧められて，特別休暇まで与えてくれたので，ハワイでの休暇を楽しむことができた。

帰国時もまた別行動となった。アルゼンチン・ブエノスアイレスで開会された第4回世界産科婦人科学会に出席のためである。家族を先に帰国させて，ロサンゼルスで加来教授を迎え，合流して南米を廻り，学会終了後再度アメ

リカに再入国し，ニューヨーク，フィラデルフィア，ボルチモアに立ち寄った。ボルチモアではジョーンズ・ホプキンス大学のアラン.C.バーンズ教授（第14回日本産科婦人科学会総会特別講演演者）を訪問した。

帰途，立ち寄ったロサンゼルスのホテルで第18回東京オリンピック大会の開会式（日本時間10月10日）の様子をテレビ放送で見ることができた。今年開催予定であった第32回東京オリンピック大会の開会式は7月24日の予定であったが，残念なことに新型コロナ疫病のため来年7月以降に延期されることになった。一生のうちに二度東京オリンピック大会の開会式をテレビで見ることができるかどうかは一に懸って，疫病の沈静化に懸っている。

参考文献

- 1) マゼラン 最初の世界一周航海 長南 実訳 p. 250～251, 2018年7月, 岩波書店
- 2) コロンブス, アメリゴ, ガマ, パルボア, マゼラン 航海の記録 大航海時代叢書 I, p.667 1978年4月, 岩波書店
- 3) 橋本 進: 咸臨丸, 大海に行く サンフランシスコ航海の真相, p.115, 2012年7月, 海文堂
- 4) *ibid.*, p.194.

随 筆

寒中に植えた春の花

宮崎^{とも}市^{なり} 友^{ひさ} 成^お 久^雄 雄

暦の上では春になっている2月だが、実際はもっとも寒い月。ホームセンターには早くから春の花苗が並び始めていた。暖冬といわれるだけに、暖かい日が多かった。裸に近くなった花壇に早く花を植えたくなってくる。宮崎神宮の植木市が例年より早く2月下旬に始まったので、初日から見に行った。おびただしい花の量と多彩な色が一見フラワーショーのようで感激する。3か所を見て回って定番以外をどんな花にしようかと見当をつける。

ミニ花壇の中央部は最近をストックとキンギョソウになっている。どちらもやや大きい株で、花も多いから。とくにストックは分枝が多く、ボリュームのある株になるから、見応えがある。私は深みのあるブルーの花が好きだ。

今年の主役として久しぶりに植えたルピナスは豆科の多年草。やや値が張るので最初2本植えたが、図抜けて背が高く突出した感じなので、低いのを2本買い足すと落ち着いた。花房が円錐状で、藤の花を逆さにしたような形状を成し、ノボリフジの別名がある。ルピナスはラテン語でオオカミの意という。

キク科のノースポールも久しぶりだったが、株が広がり、全体が小さな白い花で覆われるほど花付きがよい。今回気づいたのは2か月经っても花柄が一つもできないことで、こんなに花持ちがいいのは珍しい。

ムスカリも久しぶりだった。まん丸の球根が露出したポット苗を見たとき懐かしい気がした。きれいな青色の花が下向きに付き、円錐状の花筒になる。私の好きな花だが、これは人類が利用した最古の花の一つで、イラク北部の洞窟から花半分が出土しているという。名のムスカリはギリシャ語の麝香を意味するムスクに由来しているという。

幼少のころから知っているキンセンカを初め

て植えてみた。花壇の縁ではなく、少し空いた狭い所にオレンジの苗を5本植えてみた。花が1個付いた苗は丈がやや低く花は大きいので、矮性らしい。鮮やかなオレンジの花は思ったより印象が強かった。キク科の一年草だが、ハーブの一種とは知らなかった。

花壇の外に小さいツツジの苗木を植え、その手前にガザニア20本を2列に列植してみた。花色はポピュラーなオレンジや白ではなく、初めて見たような金茶色のもの、濃赤色の筋の入った黄色や白で、このような魅力的な色もあるのだと見直した。

テラスのスタンドには数個の花木の鉢植を置いているが、苗が大きくなった赤のマーガレットやラナンキュラス、2色咲きの珍しいツツジなどを追加した。ちなみに、昨年買ったハイビスカスは冬からずっと咲き続けている。年中咲くように改良できるのだろうかと思議な気がする。

一昨年日南の南郷町で購入したジャガランダが、初めて花を付けた。ガレージの上に生け垣があるが、その根元の細長いスペースにも切り花用のキクやスカシユリなどを植えた。こうして、今年は例年より花の種類も数もかなり増えたので、ガーデニングをやっていると言えるかなと思う。

朝起きるとまず花壇の前にしゃがむ。植えてから2週ぐらい経つと花柄ができ始めるので、それを摘んだり、小さな草を抜いたりしながら、20～30分雑念のない時間を過ごしていた。

5月の末には花壇の花は大部分枯れて、残ったのはナデシコとキンギョソウぐらいだった。花壇の外に植えたガザニアがまだシーズン中のように茂り、花も付けている。そろそろ夏の花を植える時季になった。

随 筆

各地巡りの同窓会

宮崎市 ^{うち}内 ^だ田 ^{おさむ}攻

西暦2020年5月、遂に後期高齢者のグループに押し込まれた。医師国民健康保険証を県医師会に返還し、それに代わる後期高齢者医療保険証が宮崎市から送付されてきた。手に取ると一年ごとの更新となっている。小生、孫の成人を見届けるには尚十回ほどの更新が果たしてできるか、生きているのか。

1970年（昭和45年）大学を卒業し医師になり2020年の今年が節目の五十年である。

大学の学年同窓会は不定期だが毎回盛り上がらない。

平成5年、親友A君の地元北九州市の魚庵千畳敷に小生含む7人の友が集まり、久しぶりの楽しいひと時を過ごした。各々が仕事に家庭に少し余裕が出たとの話から「毎年一回一泊二日のミニなる同窓会を開く」方向で話が進む。しかも各々の地元出身地に出掛け、馳走と観光でその地の歴史と文化を知り楽しむ。酔いに任せてとんでもない計画に皆が喜んで賛成。その後、学生時代からの気心の知れた悪友親友の15名が出揃った。

計画準備のため2年後の平成7年、真っ先に手を挙げたB君の地元島根県出雲で開催。5月中旬土曜夕方に松江に集合。出雲に向かう途中、宍道湖を美しく茜色に照らす夕日に出会う。静寂な一軒家、華蔵温泉に到着しさっそく湯につかり、ご馳走を食しながら各々の近況報告を聞き、その後別室に移り夜遅くまで談笑。翌日曜、大国主大命を奉る出雲大社に詣でうわさの大しめ縄の余りの太さに驚いた。日御碕灯台（ひのみさき）に上ぼり日本海や隠岐諸島を遥かに眺める。名物ソバで昼食、島根ワイナリーで試飲する。しかしこの地の最たる印象は出

雲平野に点在する家屋。その家屋ごとに十メートルほどの一定の高さで刈り整えられた有名な黒松が、見事にその家屋四方を取り囲む。真冬の強風などに対する防風林の役目も果たす。緑豊かな5月に美しく広がる出雲平野のこの景観に皆が感激し26年後の今もしっかりと脳裏に焼きついている。

平成22年の淡路島では神戸から世界最長の吊り橋である明石海峡大橋を渡り、平成7年の阪神淡路大震災の震源地に近い記念公園に展示されている凄まじい実物の地割れを見て驚愕した。その前日、とんでもないハプニングに出会う。我々の宿泊先のウェスティンホテルに当地を訪問中の皇太子殿下（現天皇）がお泊りになった。一同まさかの驚きである。翌朝、殿下の出発時刻を知らされホテル玄関前から離れた所に一同整列し手を振りながらお見送りする幸運に恵まれたこともあった。

15名で平成7年に始まり、今日まで26年続く各地巡りも、宮島、由布院、洞爺湖、道後温泉、平等院鳳凰堂、長谷寺、帆船日本丸、大原美術館、靖国神社、赤穂城大石内蔵助屋敷などを見聞して来た。仲間の年齢もいつしか75歳から80歳になる。それぞれの出身地で初めて知った歴史や文化も多々あり、毎回賑やかな楽しい一泊二日である。残念なことにこの間、かけがえのない4人の友が亡くなった。比較的元気な残り11名のこの後期高齢者で、まだまだ各地を目指して愉快な旅を期待している。別れ際は同じような言葉で「お互いボケと足腰に注意どうぞ」「治療忘れず元気にまた逢おう」「無理するなよ。奥方によろしく」

あ〜あれから五十年。

※中止の年（3回）

平成21年（神戸予定）新型インフルエンザ

平成23年（東京予定）東日本大震災

令和2年（鹿児島予定）新型コロナウイルス感染症

※開催地（二度の開催県複数あり）

福岡，出雲，広島，北海道，大分，松山，大
阪，熊本，高松，倉敷，宮崎，東京，神戸，
横浜，京都，鎌倉，赤穂

9月のベストセラー（宮崎県）

集計：2020年9月1日～9月25日

1	半沢直樹アルルカンと道化師	池井戸 潤	講談社
2	夢をかなえるゾウ④	水野 敬也	文響社
3	気がつけば、終着駅	佐藤 愛子	中央公論新社
4	あきない世傳金と銀⑨	高田 郁	角川春樹事務所
5	少年と犬	馳 星 周	文藝春秋
6	コロナ後の世界	ジャレド・ダイヤモンド	文藝春秋
7	一人称単数	村上 春 樹	文藝春秋
8	そして、バトンは渡された	瀬 尾 まいこ	文藝春秋
9	「繊細さん」の本	武 田 友 紀	飛鳥新社
10	私は私のままで生きることにした	キム・スヒョン	ワニブックス

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和3年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 令和2年12月7日(月)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

第120回九州医師会総会・医学会のご案内

毎年九州各県持ち回りで開催しております九州医師会総会・医学会を、下記のとおり宮崎県医師会の担当で開催します。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、WEB（YouTube）でも聴講いただけるよう準備しましたので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、29日(日)に開催される分科会等の関連行事もWEB開催や一部中止等の変更がございます。

詳しくは、第120回九州医師会医学会ホームページ

<https://www.miyazaki-120kyuigaku.jp>



（宮崎県医師会ホームページ「第120回九州医師会医学会」バナーをクリック）でご確認ください。

会 期 令和2年11月28日(土)

場所・参加形式

- 1) シーガイアコンベンションセンターでの現地参加（原則、宮崎県医師会会員のみ）
- 2) ご自宅等でのYouTube聴講による参加 ※単方向配信
- 3) 九州各県医師会会場（宮崎県を除く）でのテレビ会議による参加 ※双方向配信

1 九州医師会連合会総会

13:00～13:50

- | | |
|----------------|------------------|
| 1) 開会の辞 | 6) 祝電披露 |
| 2) 国歌斉唱 | 7) 宣言・決議 |
| 3) 黙 禱 | 8) 次回開催担当県医師会長挨拶 |
| 4) 九州医師会連合会長挨拶 | 9) 閉会の辞 |
| 5) 来賓祝辞 | |

2 九州医師会医学会

14:00～16:10

特別講演Ⅰ（14:00～15:00）

演題：「寿命の鍵を握るテロメアの謎を解く

ーヒトテロメア分子機構の解明及び診断・治療の開発」

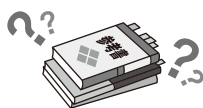
講師：宮崎大学医学部 機能制御学講座物質科学分野 教授 徐 ^{じょ} 岩 ^{がん} 先生
座長：宮崎県医師会 副会長 濱 田 政 雄

特別講演Ⅱ（15:10～16:10）

演題：「宮崎の強み：本格焼酎の魅力

（製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体質まで）」

講師：宮崎大学 理事・副学長 水 ^{すい} 光 ^{こう} 正 ^{まさ} 仁 ^{ひと} 先生
座長：宮崎県医師会 会長 河 野 雅 行



あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は73ページ)

- 慢性咳嗽の原因疾患とその特徴の組合せで誤っているのはどれか。
 - COPD ———— 喫煙歴
 - 咳喘息 ———— 季節性
 - アトピー咳嗽 ———— 咽喉頭癌痒感
 - 胃食道逆流症 ———— 後鼻漏
 - 副鼻腔気管支症候群 ———— 膿性痰
- IgG4関連疾患の腎病変について正しいのはどれか。2つ選べ。
 - 思春期に好発する。
 - 間質性腎炎を認める。
 - 初発症状は発熱が多い。
 - 半月体形成性腎炎を認める。
 - 治療は副腎皮質ステロイドが第一選択である。
- 胎児心拍数陣痛図において、胎児の健康状態の悪化が最も懸念される所見はどれか。
 - 一過性頻脈
 - 早発一過性徐脈
 - 変動一過性徐脈
 - 基線細変動増加
 - 基線細変動消失
- 高齢者の転倒のリスクファクターでないのはどれか。
 - 嗅覚障害
 - 筋力低下
 - 視覚障害
 - 深部知覚低下
 - 前庭機能障害
- 乳児の心肺蘇生法で正しいのはどれか。
 - 胸骨圧迫の深さは胸の厚さの約1/2である。
 - 胸骨圧迫は60～80回/分の速さで行う。
 - 死戦期呼吸を認めたら蘇生行為を開始する。
 - 2人の救助者で行う場合の胸骨圧迫と人工呼吸の比は30：2である。
 - 脈拍の触知は大腿動脈で行う。
- 急性膵炎の重症度判定基準の予後因子に含まれるのはどれか。2つ選べ。
 - CRP
 - PaCO₂
 - 尿素窒素
 - リパーゼ
 - トリプシン
- 2歳の男児。生来健康であったが、発熱を主訴に母親に連れられて来院した。診察時に母親が離れても啼泣しない。体温38.2℃。心拍数110/分、整。血圧98/62mmHg。呼吸数30/分。SpO₂98% (room air)。毛細血管再充満時間は2秒以内。自発的に開眼しており光をまぶしがるが、視線が合わず追視をしない。

この患児に疑われるのはどれか。

 - 頻拍
 - 低血圧
 - 意識障害
 - 呼吸不全
 - 末梢循環障害
- 74歳の女性。動悸を主訴に来院した。今朝7時ごろに突然、激しい動悸を自覚した。ソファに横になり様子をみていたが、30分経っても症状が治まらず、不安感が強くなったため受診した。既往歴として高血圧症と両側頸動脈に動脈硬化性の狭窄を指摘されている。意識は清明。体温36.6℃。脈拍168/分、整。血圧132/88mmHg。呼吸数18/分。SpO₂98% (room air)。心音と呼吸音とに異常を認めない。心電図ではQRS幅の狭い波形による、規則正しい頻拍を認める。

対応として適切でないのはどれか。

 - Valsalva手技
 - ベラパミル投与
 - ジソピラミド投与
 - 頸動脈洞マッサージ
 - アデノシン三リン酸投与
- 輸血後GVHDで正しいのはどれか。
 - 輸血後6時間以内に発症する。
 - 新鮮血と比較して保存血で起こりやすい。
 - 輸血製剤の放射線照射が予防に有効である。
 - 初回と比較して複数回の輸血後に起こりやすい。
 - 血縁者と比較して非血縁者からの供血で起こりやすい。
- 気管支喘息患者で日内変動を認めるのはどれか。
 - 残気量
 - 肺活量
 - 肺拡散能
 - 1回換気量
 - ピークフロー

エコー・リレー

(542回)

(南から北へ北から南へ)

手話は言語

宮崎市 いわさき小児科 いわ さき なお や
岩 崎 直 哉

昨年度は「手話奉仕員養成講座」を受講しました。毎週2時間、手話と手話に関する事柄を学びます。医療福祉関係者に留まらずさまざまな人たちが参加されています。高校生も何人かいらっしやいました。

手話といっても手や指を動かすだけで意思疎通をしているわけではありません。表情や口の動き（口型）も重要な手話の要素です。嬉しさを表現するときに顔が無表情であつたら違和感がありますよね。更に動作の強弱や緩急、繰返しなどで表現の幅をひろげます。音声言語とは違った面白さがあります。

手話を使わなくても筆談や字幕などがあれば十分と考えるかもしれませんが、書かれた文章を瞬時に理解することが苦手な人もいらっしやいます。書かれた文章というのは可視化された音声言語なのかもしれません。細かいニュアンスは慣れ親しんだ手話でなければ伝わらないのだと思います。

手話以外でも聴覚に障がいがある方の日常生活での苦勞も知りました。隣の家が火事になって大騒ぎになっていても翌朝まで気がつかなかったこともあるそうです。災害時の警報なども十分伝わらないおそれがあります。

182か国が締結している「障害者権利条約」では「手話は言語」であると明確に定義されています。最近、知事や市長クラスの会見で手話通訳士を見る機会が増えたように思います。よい変化です。

新しいことの習得はとてつらいのですが、全国手話検定では5級と4級に合格しました。この春からは「手話通訳者養成講座」に進級しました。

手話を知ると世界が広がります。

[次回は、宮崎市の横山 晃子先生をお願いします]

娘ができました

宮崎市 かわはら整形外科 かわ はら かつ ひろ
リハビリテーションクリニック 河 原 勝 博

今年4月の初め、当院での朝礼で私が職員にこう発表しました。職員達は「マジですか!」といった表情、その後一斉に妻である事務長に視線が集まりました。

以前から私と長女が切望し、妻はほどほど乗る気、長男と次男はさまざまな理由をつけて反対していました。しかし、いざその子を目の前にすると可愛らしい仕草に家族全員メロメロです。ほどなく我が家のLINEにはアルバムが開設され写真と動画でいっぱいになりました。勿論、家族だけでなく職員のアイドルにもなりました。

末娘の名前は「るん」と言います。もふもふした赤褐色の毛の元気な子です。もうお分かりでしょうがトイプードルの女の子です。

現在、「るん」の朝の世話は私が担当です。人間の子ども達が小さい頃、私はほぼ家におらず、妻に家事育児は任せっきりでした。せめて16年ぶりにこの子だけには思い係わっています。「るん」は朝5時ごろには目覚めて鳴きます。早起きの私は「るん」の鳴き声を聞いたらすぐに寝室から連れ出し、朝食と身支度を済ませて散歩に行きます。散歩は「るん」のためだけでなく、運動不足の私にも助かっています。散歩の途中で走りにも付き合いますが、すでにスピードでは敵わず途中で降参します。現在の懸案事項は私の肉離れです。

「るん」が我が家に来てから家族の幸せ度数が上がりました。あと数年したら夫婦2人と「るん」の生活になると思います。今後、ゆっくりと第2の子育てを楽しんでいこうと思います。

[次回は、宮崎市の石田 康行先生をお願いします]

メディアの目



特別な夏を越えて

読売新聞 宮崎支局長
わか まつ けん いち
若 松 健 一

今夏、久しぶりに自宅の棚から思い出の品を手を取った。小さな瓶に詰まった「甲子園の土」。30年あまり前、野球部の一員として夏の全国選手権大会に臨み、持ち帰ったものだ。当時2年生。力不足でベンチ入りは果たせず、アルプス席から声援を送った。

聖地でのプレーを目標に挑んだ新チーム。翌年にかけての県大会では相次いで破れ、願いはかなわなかった。思い出の土には野球部員の誇りとともに、高校球児としての悔しさもにじむ。そんな悔しさもまた糧になったと、いま思う。

新型コロナウイルス禍で、今年の高校野球は春のセンバツに続き、夏の選手権大会も開催が見送られた。夏の甲子園中止は戦後初となる異例の事態。球児たちを思いやる報道の中で、ひとつの談話が目にとまった。

1996年夏の甲子園決勝、松山商（松山市）―熊本工（熊本市）戦。熊本工は延長10回裏、タッチアップでサヨナラ勝ちを狙ったものの、「奇跡のバックホーム」と語り継がれる好返球でアウトとなった。高校野球ファンであれば、忘れられない名シーン。この三塁走者だったOB選手がコメントを寄せていた。

「『セーフになった自分』より、よくなりたと思って生きてきた」

息をのんだ本塁上のクロスプレーを懐かしく

振り返りながら、その言葉に感じ入った。

選手権大会の中止を受け、宮崎県高校野球連盟などは今夏、独自大会の舞台を用意した。感染予防のため、原則無観客となった球場のスタンドは閑散としていた。それでも観戦を認められた保護者らが激励の拍手を送る中、仲間同士ではげまし合い、ひたむきに白球を追う選手らの姿があった。

野球ができることのありがたさ。試合に臨めることへの感謝——。試練に直面しながらも、前を向いてきた球児たちは、例年に増して心を耕したように映った。

プロ野球・阪神タイガースと阪神甲子園球場は、日本高野連に加盟する全国の野球部3年生に、甲子園の土が入ったキーホルダーを贈ると発表された。球児を応援している気持ちを伝えようと、土の一部は阪神の選手らが直接グラウンドから集めるという。

＜その土が球児の夢に種を蒔く＞

（よみうり時事川柳・関根 悟）

季節は移り、部活動に幕を下ろした球児たちは新たな進路へと踏み出していく。春秋に富む若者たち。特別な夏の記憶と周囲のエールを胸に刻み、それぞれの道で、夢を花開かせてほしい。

表彰・祝賀

救急医療事業功労により県知事表彰

しろ 城	やま 山	のぶ 暢	ひろ 博	先生（宮 崎）
さ 佐	い 井	のぶ 伸	お 男	先生（延 岡）
まつ 松	もと 本	ひで 英	ひろ 裕	先生（西 都）

令和2年9月7日，救急医療事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



城山 先生



佐井 先生



松本 先生



宮崎県感染症発生動向 ～8月～

令和2年8月3日～令和2年8月30日（第32週～第35週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性6例・女性6例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：宮崎市，都城，日向（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳，10歳代及び60歳代が各1例であった。主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。原因菌のO血清型はO26（VT1），O26（VT型不明），O157（VT1VT2）であった。

4類：○A型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として食欲不振，黄疸，肝腫大，肝機能異常がみられた。A型肝炎のワクチン接種歴，海外渡航歴は無かった。

○日本紅斑熱1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，血清群は不明であった。主な症状としてショック，腎不全，DIC，軟部組織炎，中枢神経症状がみられた。

○梅毒3例（男性3例）：宮崎市（2例），日向（1例）保健所管内から報告があった。年齢はいずれも20歳代で，病型は早期顕症梅毒Ⅱ期であった。主な症状として梅毒性バラ疹がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状は筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害，瘻笑がみられた。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として肺炎がみられた。

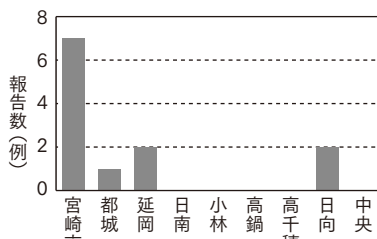


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	9
肺結核及びその他の結核(気管支結核)	1
無症状病原体保有者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	1
50歳代	1
70歳代	2
80歳代	4
90歳代	4

■指定感染症

○新型コロナウイルス感染症163例：保健所別，年齢別報告数は【表3】のとおりで，主な症状は発熱，咳，全身倦怠感，咽頭痛等であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,081人（定点あたり32.4）で，前月の61%，例年の35%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は特になく，減少した主な疾患は咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は266人（7.4）で前月の約0.5倍，例年の約1.3倍であった。延岡（16.3），日南（16.0），宮崎市（10.5）保健所からの報告が多く，3～5歳が全体の約4割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は165人（4.6）で前月とほぼ同程度，例年の約0.4倍であった。都城（12.8），日南（11.0），延岡（10.5）保健所からの報告が多く，1歳が全体の約半数を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	1
	<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	1
	<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	1
	<i>Salmonella</i> Bareilly (O7:y:1,5)	1
	EPEC (O26:H11)	2
	EHEC (O26:HUT VT1)	1
	EHEC (O26:HNM VT1)	1
	EHEC (O26:H11 VT1)	3
	EPEC (O145:HNM)	1
	EHEC (O115:H10 VT1)	1

表3 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数(例)

報告保健所	報告数	年 齢 群										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
宮崎市	55例	1	5	4	6	10	6	6	5	5	6	1
都 城	42例		4	4	2	6	11	3	4	6	2	
延 岡	24例		2	4	4	3	2	4	2	3		
小 林	1例			1								
高 鍋	14例			4	5		3	1	1			
高千穂	2例						1	1				
日 向	19例		8	1	3	3	4					
中 央	6例	1	1			2			1		1	

■月報告対象疾患の発生動向〈2020年8月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人(2.9)で、前月比76%と減少した。また、昨年8月(2.7)の109%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の0.8倍、昨年8月の約1.1倍であった。30歳代が全体の約4割を占めた。(男性9人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人(0.9)で、前月の約0.9倍、昨年8月の1.5倍であった。(男性1人・女性11人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年8月の0.5倍あった。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で前月の約0.4倍、昨年8月の0.8倍であった。(男性3人、女性1人)

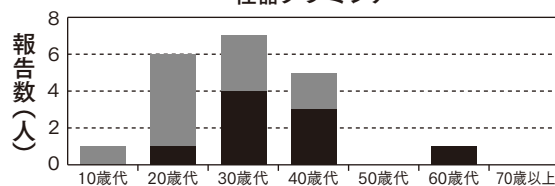
前月との比較

	2020年8月		2020年7月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	0	0.0	0	0.0	
咽頭結膜熱	34	0.9	120	3.3	
※溶レン菌咽頭炎	266	7.4	546	15.2	★
感染性胃腸炎	434	12.1	712	19.8	
水 痘	17	0.5	35	1.0	
手足口病	27	0.8	38	1.1	
伝染性紅斑	3	0.1	5	0.1	
突発性発しん	105	2.9	147	4.1	
ヘルパンギーナ	165	4.6	162	4.5	
流行性耳下腺炎	13	0.4	23	0.6	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	17	2.8	19	3.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	1	0.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

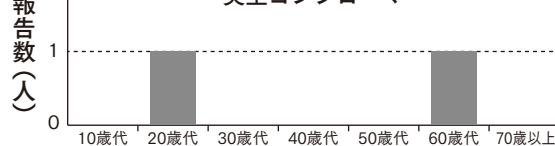
★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

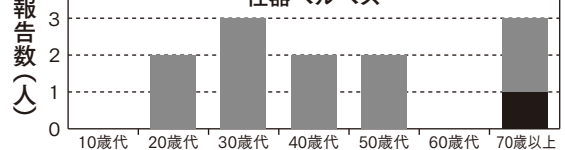
性器クラミジア



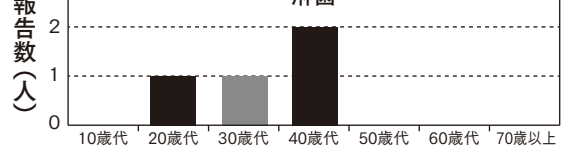
尖圭コンジローマ



性器ヘルペス



淋菌



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比91%と減少した。また、昨年8月(3.9)の74%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約0.9倍、昨年8月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各都市医師会だより

児 湯 医 師 会

なが とも かず ゆき
会 長 永 友 和 之

突然の安倍首相の退任表明に世の中がザワついていますが、もっと深刻な新型コロナウイルス感染症について、児湯西都地区の状況を報告いたします。それでは時計の針を少し前に戻します。

6月25日の総会。成績不良にて会長以下14名全理事の留年が決定しました。写真を見ると賢そうに見えますが。

7月21日夕方。高鍋町の果物店の経営者Bさんが発熱でA医院を受診。僧侶も兼ねるK医師が感染防護服（袈裟ではない）を身に付けて診察、この日まで児湯西都地域において新型コロナ感染症はゼロでしたが、「念のためPCR検査をしましょう」。

7月22日（連休前日）夕方。BさんのPCR陽性が判明すると、ここからの高鍋保健所（上谷かおり所長）の対応がすばらしい。

この日の夜には「果物店のお客および濃厚接触者は高鍋保健所に連絡を…」とテレビのテロップが何度も流れました。

7月23日以降。同保健所には電話や車が洪水のように押し寄せ（私は目撃者）、保健所自ら連日3桁のPCR検査を実施、（コロナウイルスを文字どおり「一網打尽」、「風潰し」）。8月15日までに92人の陽性者を検出、更にクラスターの震源地（エピセンター）の確定にも成功しました（Bさんではない）。

もちろん感染症指定病院である都農町国民健康保険病院（立野進院長）も保健所に負けず劣らずフル稼働で働いていただきました。

8月31日。14日連続ゼロで「赤圏域」から「緑圏域」に昇格いたしました。

私たち医師会員も押川克久感染対策委員長を先頭に微力ながら（謙虚！）奮闘しました。

近隣医師会さん、県立宮崎病院、宮崎県DMATさんにはご協力ご指導ありがとうございました。

残念なことに、高齢の男性ひとりがお亡くなりになりましたが、91人の感染者はお陰様で元気に帰還できました。本誌発行の10月には、全国の新型コロナ感染症が収束に向かっていることを祈って筆を置きます。



児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年6月25日定時総会終結後～令和4年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	永友 和之	泌尿器科	永友クリニック	総括, 児湯准看護学校長
副会長	蟻塚 高生	眼科	蟻塚クリニック	医療安全対策, 諸規定検討委員会, 倫理向上・自浄作用活性化委員会, 児湯准看護学校副校長
理 事	大森 史彦	内科, 循環器内科, 腎臓内科, 漢方内科, 小児内科	大森内科医院	学校検診委員会, 健康教育委員会, 心臓・腎臓検診, 東洋医会
〃	黒木 宗俊	内科	黒木内科医院	総務, 会計, 地域医療委員会, 宮崎中部地域産業保健センター, 産業医部会
〃	坂田 師隣	婦人科	坂田病院	医師協同組合総代, 医師国保会議員, 児湯准看護学校主事
〃	米澤 勤	外科	海老原総合病院	県医師会理事, 救急災害医療対策委員会, 勤務医部会, 病院部会・医療法人部会
〃	高山 修二	小児科, アレルギー科	たかやま小児科	小児科医会, 園医部会, 心臓検診
〃	糸井 仁	内科, 消化器内科, 皮膚科	糸井医院	学術生涯教育委員会
〃	永友 淳司	外科, 内科, 胃腸科, リハビリテーション科	ながとも医院	医療関係者対策, 医師確保対策委員会, 国民健康保険審査会審査委員
〃	山口政一朗	整形外科, 放射線科, リハビリテーション科	山口整形外科	情報システム委員会, 労災部会・自賠委員会
〃	野津手大輔	内科	野津手・加来内科 医院	公衆衛生・感染症委員会, 内科医会評議員, 医師協同組合総代, 学校医部会評議員
〃	押川 克久	内科, 呼吸器科, アレルギー科	おしかわ内科 クリニック	医療保険委員会, 社会保険, 県央在宅緩和ケア推進連絡協議会
〃	永友 研一	胃腸科, 内科, 小児科	永友胃腸科内科医院	会員福祉委員会
〃	谷畠 満	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	たにはた整形外科	介護保険委員会, 在宅医療協議会
監 事	崎濱 國治	胃腸科, 外科, 消化器科	崎浜胃腸科医院	県外科医会評議員
〃	内田 俊浩	内科	内田医院	
* 議 長	北村 洋	外科, 消化器科, 内科	北村医院	県外科医会理事, 医師国保組合理事
* 副議長	吹井 聖継	外科, 消化器科, 胃腸科	尾鈴クリニック	

* は新任

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

会 長 まつ もと ひで ひろ
松 本 英 裕

新型コロナウイルス感染症に対して、各医療機関においては逼迫した対応に狭まれ、大変なご苦労があると思います。更に答えがない事例についての対応で大変なこととお察し申し上げます。

さて令和2年6月29日の定時総会にて、当医師会は会長共々、副会長には留年していただきました。理事、監事、顧問には若干の異動がありましたが、議長、副議長には留任していただき、3期目をスタートしました。1,2期において、会長としてどこまで役を果たせたか分かりませんが、3人の副会長には代役を含め、多くの場面においてサポートしていただきましたことに感謝申し上げます。3期目も副会長以下、役員の皆様に支えていただきながら会員の皆様のために尽力したいと思います。

独立行政法人西都児湯医療センターにおいては、理事長選挙があり改選がありました。前理事長には当医療センターの運営にご尽力いただきましたことに心から感謝申し上げます。新理事長の元、その後の一次夜間救急は19時～23時のままで行っておりますが、大学の協力が大きな力となり、医師会員も協力しながら維持しております。24時間救急医療に向けては常勤医も減り遠い道のりかもしれませんが、大学や医師会員の協力の下、当医師会としても行政と今まで以上に良好な関係を築き、医療面において適切なアドバイスをしていくことが必要と考えております。新病院建設計画は進行中ですが、更に周辺市民、町民に望まれる病院づくりに全面的に協力していきたいと思っております。

先に述べた新型コロナウイルス感染症に対して、高鍋保健所、西都市の協力を受け、当医師会はドライブスルー方式の唾液PCR検査採取センターを8月24日に開設しました。検査数はまだ少ないですが、今後来るであろう更なる波に対し、お役に立てたら幸いです。A会員17名、B会員24名の医師会ですが、今期も“和”を大切にし、職務を全うしたいと思います。

今後とも県医師会はじめ皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



西都市西児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年6月29日定時総会終結後～令和4年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	松本 英裕	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	三財病院	総括, 学校保健, 医療事故, 産業医, 在宅医療, 勤務医部会, 産業医部会, 宮崎中部地域産業保健センター, 健康教育委員会, 医師確保対策委員会, 学校検診委員会, 医療安全対策委員会, 県在宅医療協議会, 医師協同組合総代
副会長	大塚康二郎	形成外科, 美容外科, 皮膚科	大塚病院	県医師会理事, 労務, 会計, 情報システム委員会, 諸規定検討委員会, 園医部会
〃	黒木 重晶	内科, 胃腸科	黒木胃腸科医院	総務, 学術生涯教育委員会, 公衆衛生・感染症委員会, 学校医部会評議員, 心臓検診, 西都市西児湯内科医会会長, 医師協同組合総代
〃	鶴田 明土	整形外科, リハビリテーション科	鶴田病院	医師保険, 救急医療, 医療保険委員会, 救急災害医療対策委員会, 地域医療委員会
理 事	上野 尚美	内科, 腎臓内科	上野医院	腎臓・糖尿検診, 県内科医会評議員, 糖尿病対策
〃	上山 裕史	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	上山医院	介護保険, 介護保険委員会
〃	片山 陽平	内科, 総合診療	西米良診療所	会員福祉・文化厚生, 会員福祉委員会
* 〃	杉尾 克徳	内科, 胃腸科	すぎお医院	医師関係者対策委員会, 西都児湯医療センター理事
監 事	相澤 潔	内科, 麻酔科, リハビリテーション科	三財病院	西都市西児湯内科医会監事
* 〃	岩見 晶臣	小児科	いわみ小児科医院	
議 長	大塚 和子	皮膚科	大塚皮膚科医院	
副議長	河野 立	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	こうの整形外科	
顧 問	大塚 直純	外科, 消化器科, 胃腸科, 肛門内科, 乳腺内科	大塚病院	
* 〃	兒玉 健二	内科	兒玉内科クリニック	
〃	富田 雄二	内科, 循環器科, 小児科	富田医院	医師協同組合総代

* は新任

宮崎大学医学部だより

解剖学講座 ー組織細胞化学分野ー



ひしかわ よしたか
菱川 善隆 教授

2011年8月に当教室に赴任以来、早いもので9年あまりが過ぎました。現在のスタッフは、菱川善隆（教授）、Narantsog Choijookhuu（講師）、安影晴那（技術職員）、川並知子（事務補佐員）

の4名です。医学部教育は、発生学（1年後期）と組織学総論・各論（1年後期・2年前期）を担当しています。大学院は、臨床の教室から5名、ベトナム、インドネシアからの留学生各1名が博士課程に在学中で、工学教育研究部修士課程の院生も培養細胞を育てに来ています。これまで6名が医学博士、2名が医学修士を取得しました。博士取得者はすべて外国（モンゴル1名、ミャンマー2名、タイ1名、アフガニスタン1名、ベトナム1名）ですが、近い将来、日本人博士も立派に巣立ってくれるものと期待しています。

研究は、主に免疫組織化学（いわゆる免疫）やin situハイブリダイゼーション法といった分子組織細胞化学的方法論を用いて、マウス肝切除や腸管虚血再灌流後の細胞増殖・分化・再生に関する研究、光線力学療法での抗腫瘍効果の作用機構の解明など、基礎から臨床共同研究まで幅広く手がけています。何が専門なのかよくわからないところもありますが、逆に人材と研究の「多様性」の面では、国内医学部の解剖学講座としては「個性的」で特徴ある研究室の一つだと勝手に思っています。

学会としては、日本解剖学会と日本組織細胞化学会がメインです。2年前の2018年9月に宮崎市民プラザで第59回日本組織細胞化学会総

会・学術集会を開催したのですが、ちょうど台風直撃を受けてしまいました。1日目夕方の懇親会までは予定どおり開催し、宮崎の山海の食材と焼酎を堪能してもらうことができましたが、その後の「暴風雨」により、2日目は中止（誌上開催）、更に、道路の冠水などで宮崎市が「陸の孤島化」してしまうなど、自然の猛威をあらためて認識させられました。しかし、足止めされ仕方なく延泊した皆さんと「第二回懇親会もどき」を催したところ、大変好評で、宮崎の印象を強く心に刻んでいただけた点では大盛会（正解？）でした。

海外との交流では、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）のさくらサイエンスプランで2015年から5回にわたり、ミャンマーとモンゴルの若手医学研究者を対象に50余名を宮崎大学医学部に招聘しました。特にミャンマーに関しては、宮崎大学国際連携センターの矢野靖典助教が中心となって、2015年からJICA草の根「ミャンマー国ヒ素汚染地域における衛生保健の実施体制強化プロジェクト」事業を行っています。具体的には、ミャンマー農村地域のヒ素に汚染された井戸水を、宮崎大学独自のヒ素除去装置を使って安全な飲み水にすることにより、ヒ素による地域住民の健康被害を予防し保健衛生環境の向上を図る事業です。現地住民健診では、丸山先生（前医学部長）、黒田先生（公衆衛生）、天野先生（皮膚科）、古結先生（皮膚科）、望月先生（神経内科）に、またミャンマー国保健スポーツ省との学術交流協定などでは、菅沼前学長、池ノ上学長、片岡医学部長にご協力をいただいています。現在、残念ながら海外渡航禁止のために活動休止中ですが、近い将来、再開できるのを楽しみにしています。

私たちの研究室では、時々日本語が通じなくて苦労する場合がありますが、これも教室の「個性」ですし、これからも「多様性」を大事にしながらかlassroomを盛り上げていきたいと考えています。

部会だより

病院部会・医療法人部会



病院部会長
いけい よしひこ
池井 義彦



医療法人部会長
あいざわ きよし
相澤 潔

平成26年6月より宮崎県医師会医療法人部会会長を担っております相澤です。濱砂重仁先生、鮫島哲也先生の後任で荷が重いのですが宮崎県医師会では病院部会、医療法人部会が合同で運営活動を行っておりますので病院部会の池井義彦会長、医療法人部会副会長の和田徹也先生、両会の理事の先生方のご指導、ご協力で責務を果たしております。

県内の医療法人部会入会の医療機関は68医療機関で、上部団体である医療法人協会の加入数としては大阪に次ぐ2位となっております。日本医療法人協会は民間医療機関である医療法人の健全な発展を図り、その設立を助成して、昭和26年（1951年）4月5日に設立され、本年4月に設立70周年を迎えることになるそうです。宮崎県の医療法人部会も先輩の民間病院の理事長先生方のご努力、リーダーシップの賜物でここまで発展し現在があることに感謝しております。

現在の活動をいくつかご紹介いたします。

昨年の11月2日に病院部会・医療法人部会合同研修会では、『診療報酬における働き方改革について』と題して全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会委員の西本育夫先生に、『2020年度診療報酬改定について』と題して全日本病院協会会長の猪口雄二先生にご講演いただきました。

本年令和2年は診療報酬改定が行われたこともあり、この合同研修会は非常に盛況で県内ほとんどの病院の理事長、関係者の方に多数出席いただき、質疑応答も時間がオーバーするほどでした。

毎年3月ごろには合同医療従事者研修会を開催しております。この研修会では医療以外の分野での講演も企画しております。過去にはメディキット県民文化センター県立芸術劇場名誉館長青木賢児様、宮崎空港ビルの長濱保廣様、昨年は医師で小説家の石黒耀先生にご講演をお願いし、大変好評でした。また、この研修会の際に会員医療機関より推薦していただいた長年にわたり医療機関に貢献してこられた職員を10名前後表彰しております。また、祝賀会を兼ねた懇親会も開催し、参加者に喜ばれています。

本年令和2年は診療報酬改定が行われました。本年度は診療報酬改定の説明会、地域医療構想における民間病院の役割議論、医師の働き方改革、消費税の医療機関負担問題など多くの説明会、意見交換会を計画していましたが予想だにできなかったコロナウイルス感染症発生のためすべてが中止となっています。

唯でさえ民間病院の経営は苦しくなっているのにコロナ発生のため8割の医療機関は経営が悪化し、運営が非常に苦しくなっております。しかし民間病院の継続がなくては宮崎県では地域医療は成り立ちません。これからも会員の先生方がしっかりと病院経営が継続でき、質の高い地域医療が継続できるよう、行政や医師会と連携し、情報提供や研修会の開催などを計画していきたいと考えております。

（医療法人部会長 相澤 潔）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

－ 各種委員会 －

医 学 会 誌 編 集 委 員 会

と き 令和2年8月26日(水)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本理事の司会により開会, 濱田副会長の挨拶に続き, 河野委員長の進行で協議が行われた。

掲載論文16編からなる第44巻第2号のカテゴリーの検討が行われ, 症例4編, 診療3編, 地域医療5編, 学会記録2編, クリニカルカンファレンス2編と, 編集後記担当者を決定した。

また, 第45巻第1号総説の執筆依頼については, 候補者の中から最終的な依頼先を委員長が選定することが承認された。

出席者

県医師会館一河野委員長, 大西副委員長,
甲斐・黒木・黒川・黒岩・
福留・武田・稲津・山下・
松尾・濱川委員

Web (Zoom) ー中馬・大森委員

(県医) 濱田担当副会長, 嶋本担当理事,
小牧・岩村副担当理事, 牧野課長,
荒川主事

お知らせ

日本医師会生涯教育講座参加証配布の停止について

10月より参加証の配布を止め, 受付名簿をもとに「研修会参加管理システム」で一括管理することといたしました。

また, Webで受講された場合はログ履歴で出席を確認いたします。

なお, 県外で受講された場合は, 後日, 追加申告で参加証が必要となりますので, 引き続き保管をお願いいたします。

日本医師会生涯教育講座
参 加 証

氏名: _____

主催: _____

講習会名: _____

開催日 年 月 日～ 年 月 日

合計単位数 単位

CC	単位

貴殿は, 標記講習会に参加したことを証明します。

令和 年 月 日

宮崎県医師会長

九州医師会連合会第386回常任委員会

と き 令和2年8月29日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

1 開 会

2 挨 拶

1) 九州医師会連合会長

(河野雅行宮崎県医師会会長)

開会にあたり、本日は、議案説明のため佐賀県医師会から志田正典、森永幸二両副会長、宮崎県から濱田政雄、山村善教両副会長の出席について紹介があった。

3 報 告

1) 九州医師会連合会第387回常任委員会並びに第1回各種協議会(10月10日(土))について(宮崎)

第1回の各種協議会は、ご出席いただく日本医師会とも調整ができ、常任委員会は、14時から14時50分まで、その後、第1回各種協議会は15時から開会し、最初の地域医療対策協議会は日本医師会「釜范敏常任理事」、15時50分からの医療保険対策協議会は「松本吉郎常任理事」、最後の16時40分からの介護保険対策協議会は、「江澤和彦常任理事」に出席いただくことになった旨報告された。なお、いずれも日医テレビ会議システムを利用しての会議開催となることも報告された。

2) 第119回定例委員総会の報告事項について

(1) 記念品贈呈について(宮崎)

本年度、日本医師会会長を退任された横倉義武先生、日本医師会常任理事を退任された平川俊夫先生、日本医師会理事を退任された池田鹿児島県医師会会長および安里沖縄県医師会会長、佐賀県医師会会長を退任された池田秀夫先生に記念品として、宮崎県高千穂町の伝統工芸品である木彫りの神楽面をお送りすることが報告



された。

(2) 令和元年度九州医師会連合会庶務および事業報告について(佐賀)

3) その他

4 議 事

第1号議案 令和元年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

歳入合計は、負担金見直しによる増収と前期担当の鹿児島県医師会からの繰越金を含め、52,236,799円。

歳出合計は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の行事を中止・縮小したことなどにより、予算額を下回る40,601,720円となった。

歳入合計から歳出合計を差し引いた11,635,079円を宮崎県医師会へ繰越。

なお、令和2年8月1日(土)に監査会を開催し、監事より適正妥当である旨、お認めいただいたとの報告がなされ、原案のとおり了承された。

第2号議案 令和2年度九州医師会連合会事業計画に関する件

新型コロナウイルス感染症の発生により、医療機関は医業経営や地域医療構想の進め方など、以前とは異なる新たな課題に直面している。医療機関、各種行政機関や国民の理解

を得ながら課題解決に向けた取組みを進めていく必要がある。

こうした状況の中、九州医師会連合会は、より一層一致団結し、日本医師会との緊密な連携を図りながら、連絡協調並びに定例諸会議の開催をはじめとする各種事業に取り組むとの提案が、原案どおり了承された。

第3号議案 令和2年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和2年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第3号議案は、事業計画（第2号議案）に基づき、前年同額の会員1人あたり2,000円の賦課額とする提案。

第4号議案は、歳入予算案は、前記賦課額に令和2年7月1日現在の九州各県医師会会員数に応じた会費収入と佐賀県医師会からの繰越金を含め、総額60,440,079円。

歳出予算案も同額で、新型コロナウイルス感染症の影響により現段階で開催を断念せざる得ない懇親会費用など減額分を含め、予備費に約27,000千円あまりを計上する予算編成案の2議案が、一括提案され、原案どおり了承された。

第5号議案 令和2年度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

令和2年度の監事については、大分県の河野幸治委員、鹿児島県の野村秀洋委員2名の選定が了承された。

第6号議案 令和2年度第120回九州医師会医学会事業計画に関する件

すでに案内した3日間の各種行事について、感染防止対策を講じたうえでテレビ会議システムなどを活用しながら次のとおり開催する。前日諸会議は臨時委員総会を書面開催。合同協議会および総会・医学会は宮崎会場から九州各県医師会へテレビ会議を使いライブ配信で開催。分科会は可能な範囲で開催（一部Web開催）。記念行事は中止との以上の提案が原案どおり了承された。

第7号議案 令和2年度第120回九州医師会医学会会費賦課に関する件

事業計画（第6号議案）のとおりに、各種行事の開催方法変更にともなう会員への周知徹底を図るため、大会の再案内パンフレットの製作やホームページの開設費用、また、テレビ会議会場としてご協力いただく九州各県医師会の費用負担などの諸経費などを見込み、前年同額の会員1人あたり2,000円の賦課額の提案が原案どおり了承された。

以上の7議案について、定例委員総会の書面議案として提案することも承認された。

更に、新型コロナウイルス感染症対応下にあっても、九州医師会連合会の諸行事は、可能な方法で継続して開催していくことが確認された。

第8号議案 次回第121回（令和3年度）九州医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回第122回（令和4年度）同学会開催担当県の内定に関する件

次回第121回（令和3年度）の開催担当県は沖縄県医師会に決定、次々回（令和4年度）の開催担当県は大分県医師会に内定した。

5 協 議

1) 新型コロナウイルス感染症への各種対応状況について（鹿児島）

今後、インフルエンザの流行が始まる今冬に向けた検査体制整備への対応状況および「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」や「医療機関における感染防止対策などの支援」事業の各県の進捗状況について意見交換がなされた。

2) その他

出席者－河野会長、濱田副会長、山村副会長、
山内事務局長、竹崎次長

日医インターネットニュースから

■インフル備え体制整備を

— 厚労省・事務連絡 —

厚生労働省は9月4日、今冬のインフルエンザ流行に備えた医療提供体制を10月中に整備するよう求める事務連絡を都道府県などに発出した。

かかりつけ医など身近な医療機関で発熱患者に対応するため、がんセンターや透析医療機関などを除き、地域の医療機関は基本的に「診療・検査医療機関（仮称）」に指定し、発熱患者の診療や検査を担うこととする。感染症指定医療機関などは「入院治療等に専念するような役割分担を検討することが望ましい」とした。

今後、季節性インフルエンザの流行期を迎え、多数の発熱患者が発生した場合、新型コロナとの臨床的な鑑別は難しいため、診療科にかかわらず、身近な医療機関で発熱患者に対応できる体制を整備する。ただし、新型コロナの感染状況は地域によって大きく異なるため、都道府県が主体となって基礎自治体とも連携しつつ地域ごとに進めることとした。

●情報は地域で共有

新たな体制では、発熱症状のある患者はまず、かかりつけ医などの身近な医療機関に電話で相談し、診療・検査が可能か確認してから受診する。医療機関側には、患者から電話相談があった場合に自ら対応するか、診療・検査医療機関を紹介することになるため、情報の共有を求めた。自治体が地域の医師会などと合意した場合には、自治体のホームページで診療・検査医療機関の情報を公表し、患者が円滑に受診できる仕組みを整える。

これまでの帰国者・接触者相談センターは機能を解消し、「受診・相談センター（仮称）」として住民が受診すべき医療機関に迷った場合に相談を受ける役割に移行する。診療・検査医療機関は、検査（検体採取）を地域外来・検査センターに依頼することも可能。また、診療・検査医療機関は仮称なので、都道府県ごとに適切な名称を設定するよう求めた。

検査を実施する医療機関は、都道府県などと行政検査の委託契約を結ぶ必要がある。地域の医師会や病院団体と連携し、集合契約を活用することが望ましいとした。集合契約の場合、検査方法や検体の違いは問わないとし、チェック

項目を満たせば実施できることを明確化した。

これらの体制整備にかかる費用について、厚労省は2020年度第1次補正予算と第2次補正予算を積極的に活用するよう求めている。また、診療・検査医療機関に対して、厚労省は個人防護具の配布支援を実施する予定だ。

●体制整備に財政支援も 加藤厚労相

同日の閣議後会見で加藤勝信厚生労働相は、今後の検査・医療需要の大幅増を見据え、「できるだけ多くの診療所に参加していただきたい」と発言。動線の確保など体制整備にかかる費用や、体制を整えた上で患者数が想定を下回った場合などを想定したさらなる財政支援も検討中と説明した。（令和2年9月8日）

■医業収入、耳鼻咽喉科・小児科は大幅減

— 日医の診療所調査 —

日本医師会は9月9日、新型コロナウイルス感染症の診療所経営への影響を調査した結果を発表した。4～6月の医業収入の対前年同期比は平均でマイナス13.3%となった。4月はマイナス15.4%、5月はマイナス16.5%、6月はマイナス8.0%と持ち直したが、平均で約1割減となった。会見で発表した中川俊男会長は「7月には全国各地で同感染症の患者数が再拡大しており、6月以上に医業収入が落ち込んでいるのではないかという懸念がある」と述べた。

4～6月の医業収入の対前年同期比の平均を診療科別に見ると、内科はマイナス10.7%、外科はマイナス9.4%、整形外科はマイナス13.0%、眼科はマイナス3.4%だったが、耳鼻咽喉科はマイナス34.5%、小児科はマイナス26.0%と大きく落ち込んだ。

耳鼻咽喉科と小児科について、4～6月のうち医業収入が30%以上減少した月がある診療所は耳鼻咽喉科で89.4%、小児科で56.3%となった。50%以上減少した月があるのは耳鼻咽喉科で41.5%、小児科で10.9%だった。中川会長は小児科について「半数近くはぎりぎりのところで持続化給付金の要件に該当しない」とし、「今後、要件の緩和や段階的な要件設定を求めたい」とした。

1施設1カ月当たりの対前年同期減益額は、医療法人の有床診療所がマイナス78万円、無床

診療所がマイナス154万5000円、個人の無床診がマイナス113万1000円となった。医療機関への支援として有床診は200万円、無床診は100万円を上限とする補助金が用意されているが、十分ではなく、中川会長は「損失補填も排除せず、大胆な追加的支援を求めたい」と述べた。

交付金等と融資の申請状況を聞いた質問では、交付金等と融資の申請をした（予定を含む）のは25.0%、交付金等のみを申請した（予定を含む）のは35.9%、いずれも申請していない・無回答は39.0%だった。交付金等か融資を申請した診療所に対策が十分か聞いたところ、「やや不十分」と「不十分」を合わせると77.7%となった。中川会長は「2次補正予算の支援策が一定程度活用されているものと評価できる」とした一方、「まだまだ不十分との声も少なくない。さらにきめ細かい対応を要請したい」と述べた。

4～6月の医業利益率を見ると、医療法人の有床診は4.3%から2.0%に悪化、無床診は7.0%からマイナス5.6%に落ち込んだ。個人の無床診は34.7%から25.4%に減少した。個人は医業利益から開設者報酬を支払うので、医療法人と比較はできない。各類型の給与費も減少していた。

調査は都道府県医師会に依頼した。都道府県医が任意の診療所（会員医療機関）に連絡し、9月1日まで回答を受け付けた。医業収入の回答があった診療所は546施設、そのうち損益計算書全体の回答があったのは487施設。

（令和2年9月11日）

■予備費1.2兆円の医療機関への支援策 — 厚生労働省が公表 —

厚生労働省は9月15日、医療機関を対象とした予備費約1兆2000億円分の新型コロナウイルス感染症への支援策を取りまとめて公表した。コロナ患者の病床・宿泊療養体制整備の7394億円をはじめ、コロナ患者を受け入れる特定機能病院等の診療報酬・病床確保料引き上げに1690

億円、発熱外来の診療体制確保支援に2170億円、感染症疑い患者を受け入れる救急医療機関等の支援に682億円などをそれぞれ織り込んだ。

病床・宿泊療養体制の整備では、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を増額し、10月以降も各都道府県が病床や宿泊療養施設を確保するための経費を補助できるようにする。特定機能病院の診療報酬・病床確保料の引き上げでは、重点医療機関の特定機能病院における病床確保料の上乗せ分として、ICU病床を13万5000円増の43万6000円、その他病床を2万2000円増の7万4000円に引き上げる。重点医療機関の一般病院でも、その他病床を1万9000円増の7万1000円に増額した。

発熱外来の診療体制確保支援では、都道府県の指定に基づいて発熱患者を専門に診る外来体制を構築した医療機関を支援する。発熱患者などを対象に専用の診察室を設けるなど外来診療や検査体制の構築にかかった経費を補助したり、受診・相談センターの依頼を受けて休日や夜間の電話相談業務を代替する医療機関に必要な経費を補助したりする。

感染症疑い患者を受け入れる救急医療機関等の支援では、都道府県による登録に基づいて発熱やせきなどの症状があるコロナ疑いの救急患者を診療する救急・周産期・小児医療機関の感染対策の費用を補助する。許可病床199床以下で1000万円とし、許可病床200床ごとに200万円を追加する。経費補助の対象期間は9月15日～2021年3月31日に設定している。

このほか、コロナ対応を行う医療機関に勤務する医療資格者がコロナに感染した際に労災給付の上乗せ補償を行うために民間保険に加入した場合、保険料の一部を補助するため10億円を計上した。1人当たり1000円を上限として年間保険料の2分の1を補助する。医療機関の事務を簡素化するため、国への補助金の申請や保険契約の申し込みを委託することもできる。

（令和2年9月18日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合 第36回通常総代会 理事会

と き 令和2年6月20日(土)

ところ 県 医 師 会 館

吉田副理事長の開会宣言後、議長選任を諮ったところ、松本英裕議長が選任された。松本議長から、総代の定数および出席総代と書面議決、委任状による出席の確認が行われ、定款に基づき通常総代会の成立を宣言した。

続いて、河野理事長挨拶の後、議事に入り、総代会に上程された6議案についての審議が行われ、議長採決の結果、議案第1号から6号までの議案全てについて、賛成全員で承認可決された。

議案第1号 令和元年度事業報告、決算及び剰余金処分案の承認を求める件

小牧専務理事から、事業報告、決算について、損害保険事業を軸に、購買、マンション斡旋などの各種事業が好調な展開をしており、カード事業で年度末の新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、当期純利益2,961万1,763円を確保できた旨説明が行われた。また、剰余金処分案では、これまで用途を定めていなかった別途積立金、前期繰越剰余金の計4億円を会館建設のための積立金とする提案が行われ、この会館建設積立金の4億円については、総代会の決議により取り崩すこともでき、また、来年以降の総代会において、その都度、当期純利益の金額を考慮して、剰余金の処分案として、会館建設積立金を積み増しするのか、または、次期剰余金として繰越すのかなどが協議されることが説

明され、次いで桑原監事から、監査報告が行われた。

議案第2号 令和2年度事業計画及び収支予算案の承認を求める件**議案第3号 借入金残高最高限度額決定の件****議案第4号 役員報酬決定の件**

上記3議案は一括審議され、吉田副理事長から、議案第2号は、各医療機関などとの連携強化をはじめとする重点施策の下、業績の堅調な医賠責などの損害保険、マンション斡旋事業他、昨年度に引き続き購買事業などに目標を定め積極的に取り組んでいくとの説明があった。

また、カード事業は、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、厳しい見通しであることや、九州首市医師会連絡協議会開催にともなう、宮崎市郡医師会への100万円の寄附計上なども含めて、税引前当期純利益は前年度より900万円減の約3,100万円を見込んでいることが説明された。議案第3号は、借入金残高最高限度額1,000万円とする提案、議案第4号は、役員報酬を予算の範囲内で、理事8名分で299万円、監事2名分で16万円とすることが提案された。

議案第5号 役員（理事・監事）改選の件

松本議長から、現在の理事8名、監事2名の役員全員が任期満了となり、定款により役員は総代会において選挙するが、出席者全員の同意があるときは、定款に基づき指名推選の方法に

より行うことができる旨説明、全員賛成により、選挙方法は指名推選、選考委員の選出方法は議長一任となり、松本議長から、選考委員は出席総代全員にお願いされ、理事に河野雅行・山村善教・吉田建世・小牧斎・石川智信・瀬ノ口洋史・中山健・玉置昇理事、監事には桑原正知・宮田純一監事が指名され、全員が当選となった。

出席総代（52名）

川 名 隆 司	市 来 能 成	牛 谷 義 秀	尾 田 朋 樹
金 丸 禮 三	神 尊 敏 彦	高 村 一 志	田 中 俊 正
田 中 宏 幸	中 山 健	成 田 博 実	原 田 雄 一
三 宅 和 昭	河 野 雅 行	濱 田 政 雄	山 村 善 教
小 牧 斎	石 川 智 信	川 野 啓一郎	佐々木 究
高 木 純 一	玉 置 昇	上 山 貴 子	桑 原 正 知
高 山 和 久	篠 原 立 大	内 野 竜 二	田 口 利 文
伊 達 晴 彦	久保田 秀 紀	瀬ノ口 洋 史	佐 藤 信 博
平 野 雅 弘	牧 野 剛 緒	吉 田 建 世	宮 田 純 一
千代反田 晋	今給黎 承	松 岡 敬 子	家 村 文 夫
永 友 和 之	米 澤 勤	坂 田 師 隣	松 本 英 裕
中 村 彰 伸	内 村 大 介	園 田 定 彦	池 井 義 彦
志戸本 宗 徳	井 尻 裕 司	吉 村 雄 樹	植 松 昌 俊

引き続き、次期役員に指名・当選された理事8名、監事2名の出席により、宮崎県医師協同組合理事会が小牧専務理事の司会により開催され、理事会に上程された議案についての審議が行われ、賛成全員で承認可決された。

議案第6号 役員退任慰労金決定の件

吉田副理事長から、議案第5号で現役員が再任されることになり、退任者がいないので本年度の役員退任慰労金は支給しないことが説明された。

最後に、河野理事長から謝辞があり、松本議長が閉会を宣言し、第36回通常総代会を終了した。

議案第1号 代表理事、副理事長及び専務理事選任の件

河野雅行代表理事（理事長）、山村善教・吉田建世副理事長、小牧斎専務理事がそれぞれ選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。新型コロナウイルス感染症の予防に十分ご注意のうえ、ぜひご利用ください。

※実施期間および接種期間：令和3年3月末日まで

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診日程

<宮崎市郡医師会病院 健診センター>

令和2年	10月18日				
令和3年	1月17日	2月7日	2月21日	3月7日	3月14日

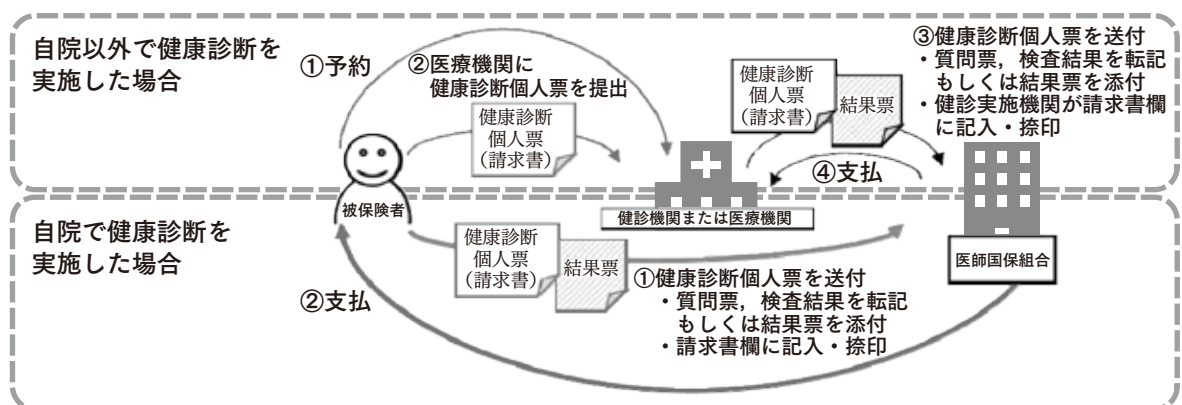
ご予約は当組合（TEL 0985-22-6588）へご連絡ください。

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センター（TEL 0985-77-9108）へお願いします。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。

自家健診についてご不明な点がございましたら、当組合までお問い合わせください。



特定保健指導

◆対象者

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

※自己負担はありません

2 インフルエンザワクチン接種補助

◆対象者

被保険者全員並びに高齢組合員

◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 低線量ヘリカルCT肺がん検診
- 3) 脳ドックなどの補助
- 4) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査

申請書は、
当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

<被保険者の資格喪失届について>

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。
組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）。を行わなければならない。」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

**令和2年8月4日(火) 第8回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 業務委託について**

①高次脳機能障がい講演会の業務の委託契約について

→高次脳機能障がいに関する診断技術の向上を目的に講演会を開催する事業で、テレビ会議システムを利用し各郡市医師会に放映することを前提に、契約を締結することが承認された。

2. 医療法人（診療所）における「持分あり医療法人」の「基金拠出型医療法人」への移行に係るアンケート調査について

移行に係る現状と課題の把握を目的に、日医と厚労省が共同で実施するアンケート調査で、対象となる県医師会役員が調査に協力することが承認された。

3. 新型コロナウイルス感染症対応下の診療所経営調査について

診療所を対象に、交付金申請や融資申込みの有無、昨年と今年の損益状況を確認する調査で、対象となる県医師会役員が協力することが承認された。

4. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域のお産を支え、我が国の産科医療の推進に貢献してきた産科医などに贈られる表彰で、1名を推薦することが承認された。

5. 全国医師会医療秘書学院連絡協議会令和2年度第1回常任委員会及び運営委員会（Web会議）の開催について

医療秘書学院を設置する13の県医師会で構成し、今年は群馬県医師会が担当する協議会で、Web会議を利用して、常任委員の山村副会長と運営委員の池井常任理事が参加することが承認された。

(報告事項)

1. 7月末日現在の会員数について
 2. 8/4(火)（県庁）県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会について
 3. 8/2(日)（宮崎市）新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養所視察について
 4. 7/31(金)（県医）都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について
 5. 8/1(土)（県医）九医連事務引継ぎについて
 6. 7/30(木)（県医）保育事業養成講座について
 7. 8/4(火)（県医）治験審査委員会について
- 医師連盟関係**

(報告事項)

1. 8/4(火)（県医）日医連執行委員会について

令和2年8月11日(火) 第9回常任理事協議会**医師会関係
(議決事項)****1. 新型コロナウイルス感染症に関連する寄付金の申し出について**

個人からの申し出で、使用用途が定められている特別寄付金は、県医師会の寄付金等取扱規程で理事会の承認が必要となることから、法人法第96条および定款第49条

第2項に定める「理事会の決議の省略」により提案することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県医療審議会委員の推薦について

→医療法に基づく諮問機関として設置される審議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き河野会長と濱田副会長を推薦することが承認された。

3. 令和3年度地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る事業提案について

「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備に関する事業」、「居宅などにおける医療提供に関する事業」、「医療従事者などの確保に関する事業」に関する提案を、各郡市医師会、各専門分科医会、県医師会病院部会、県精神科病院協会、県有床診療所協議会に募集することが承認された。

4. 「令和3年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」及び「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備」に係る事業実施意向調査について

医療機関の再編統合、ダウンサイジング、地域で不足する病棟への機能転換などに対する補助事業の意向調査で、各郡市医師会を通じて調査に協力することが承認された。

5. 2020年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会について

今年度に限っては、昨年の研修会を活用した研修で同等とみなすとの通知が出されたことから、新規届出を希望する医師を対象に、日医が配布するDVDを利用して研修会を開催することが承認された。

6. 九州医師会連合会について

①令和2年度九州医師会連合会 事業計画について

→新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現時点で中止などが確定している

ものは反映し、その他の定例会議については開催する方向で九医連に提案することが承認された。

②令和2年度九州医師会連合会 負担金賦課額について

→コロナ禍の中で事業を進めるにあたって、今後の予想と見積りが難しいことから、昨年と同様、一人年額2,000円の会費を九医連に提案することが承認された。

③令和2年度九州医師会連合会 歳入歳出予算について

→すでに中止が決定しているものなどできるだけ反映したうえで、歳入歳出合計60,440,079円からなる予算を九医連に提案することが承認された。

④令和2年度九州医師会連合会 監事（2名）の選定について

→大分県医師会と鹿児島県医師会の推薦を受け、河野幸治先生と野村秀洋先生を監事として提案することが承認された。

⑤令和2年度第120回九州医師会医学会 事業計画について

→現時点の新型コロナウイルス感染症の拡大状況と今後の見通しを踏まえ、当初の計画を変更し、11/27(金)の前日諸会議は中止または書面決議、11/28(土)の総会医学会などはテレビ会議などの利用、11/29(日)の分科会および記念行事は、8/20(木)の時点で中止が決定しているものは反映したうえで、九医連に提案することが承認された。

⑥令和2年度第120回九州医師会医学会 会費賦課について

→企画の変更などを踏まえ、コロナ禍の総会・医学会の在り方を模索している状況で、新たな経費なども予想されることから、昨年と同様、一人2,000円を

九医連に提案することが承認された。

(報告事項)

1. 8/8(土)(県医)九医連常任委員会について
2. 8/8(土)(県医)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 8/8(土)(県医)九州医連連絡会常任執行委員会について

令和2年8月25日(火) 第7回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免1名(日医のみ)が承認された。

2. 旅費の課税に関する税務署との協議結果について

出張にかかる交通費などの清算は、今後領収書の提出が必要となるとの説明が行われ、実費を超える旅費は課税となり、給与所得の源泉徴収税額表(月額表)の所得税を徴収することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委員の推薦について

→再生医療等の安全性の確保に関する法律に関連する委員会で、本会の役員改選にともなう後任の推薦依頼があり、倫理・自浄担当の大塚理事を推薦することが承認された。

②幹事の推薦について

→任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①10/17(土)(串間市文化会館) 令和2年度

日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて

→ウイルス性肝炎および肝がんを撲滅するための活動の一環として、一般市民、肝臓病の患者さんおよびご家族を対象に開催される公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

5. 小児在宅医療に関する人材養成講習会の受講者の推薦について

小児在宅医療の人材育成を支える高度人材の養成を目的に開催される研修会で、澤田一美先生(はながしま診療所)、郡山晴喜先生(ホームクリニックみまた)、桐ヶ谷大淳先生(都農町国保病院)、石川常任理事を推薦することが承認された。

6. 10/29(木)令和2年度都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会の開催について

医療的ケア児に関する最近の状況について情報共有するとともに諸課題を検討するために開催される担当理事協議会で、石川常任理事と高木常任理事が出席することが承認された。

7. 11/1(日)(西都市) 令和2年度宮崎県高等学校総合体育大会男子第73回・女子第35回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される高校生の県大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

8. 11/15(日)(西都市) 令和2年度宮崎県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースを利用し開催される中学生の県大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

9. 九州医師会連合会について

①九州医師会連合会第387回常任委員会並

びに令和2年度第1回各種協議会の開催について

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大から、九州各県医師会と日医を日医テレビ会議システムで結び開催する各種協議会で時間配分の確認が行われ、後日出席者を確認することとなった。また同日開催される常任委員会の提出議題は、出席者の河野会長に一任することが承認された。

②九州医師会連合会令和2年度第1回各種協議会の提案事項に対する回答について
→九州各県医師会から出された提案事項に対する回答依頼で、地域医療は金丸常任理事、医療保険は小牧常任理事、介護保険は石川常任理事が中心となって回答取りまとめを行うとともに、当日の進行などを検討することが承認された。

10. 9・10月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/18(火) (県医) 日医理事会について

3. 8/4(火) (県医) 九医学実行委員会について

4. 8/12(水)・24(月) (県医) 広報委員会について

5. 7/29(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

6. 8/8(土) (県医) 産業医研修会(前期)について

7. 8/21(金) (県医) 妊産婦寄り添い支援事業の実施に向けての打合せについて

8. 8/25(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会
(報告事項)

1. 8/25(火) (県医) 医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/29(火) (東京) 敬人会勉強会のご案内について

武見参議院議員を講師に「個人の独立と国の独立ー感染症有事を考えるー」と題し開催される勉強会で、協力することが承認された。

お知らせ

クールビズの実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向け、令和2年5月1日から同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖など)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

県 医 の 動 き

(9月)

1	治験審査委員会（Web会議） （荒木常任理事他） 九州厚生局宮崎事務所等との協議（会長他） 第10回常任理事協議会（会長他）
3	在宅医療研修会企画小委員会 （石川常任理事） 学校医部会総会・医学会（Web会議） （会長他）
4	看護学校の遠隔授業に関する検討会（TV会議）（瀬ノ口常任理事） 日医医療秘書認定試験委員会（日医TV会議）（池井常任理事）
5	産業医研修会（前期）（園田理事）
6	全国有床診療所連絡協議会常任理事会（Web会議）（会長）
8	第11回常任理事協議会（会長他） 母体保護法指定医師審査委員会 （濱田副会長他）
9	宮大学長選考会議（会長）
10	県産婦人科医会常任理事会（嶋本理事他）
14	広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他）
15	日医理事打合会（日医TV会議）（会長） 日医理事会（日医TV会議）（会長） 都道府県医師会長会議（日医TV会議）（会長）

17	県慢性腎臓病対策推進会議世話人会 （池井常任理事）
19	県産婦人科医会秋期総会（嶋本理事他）
24	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議） （濱田副会長他） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他）
25	九州各県アイバンク連絡協議会（Web会議） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
27	日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支部長会議（Web会議）（金丸常任理事）
28	県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（濱田副会長他）
29	宮大医学部附属病院患者付添者等宿泊施設完成セレモニー（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 第8回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会 （河野委員長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
30	全国医師国保組合連合会国保問題検討委員会（Web会議）（秦理事長） 労災診療指導委員会（川野理事）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和2年9月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 8人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	4	1
麻酔科	1	0	1
精神科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 77人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和2年度	3	0	3
平成16年度から累計	56	21	77

3. 求人登録 97件 352人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	107	84	23	消化器外科	3	2	1
外科	27	22	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	29	23	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	7	6	1
救命救急科	9	9	0	合計	352	279	73

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社) 藤元メディカル藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	一社) 藤元メディカル藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和2年9月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年9月29日

10				月				
1	木	14：30	宮崎産業保健総合支援センター 辞令交付式	17	土	16：30	(鹿児島)九州医師協同 組合連合会通常総会	国 保 審 査 社 保 審 査
		19：00	園医部会総会・研修会 (Web会議)			14：00	かかりつけ医認知症対応 力向上研修会 (Web会議)	
2	金			18	日			
3	土			19	月	19：00	広報委員会 (Web会議)	
4	日							
5	月	19：00	健康スポーツ医学委員会					
6	火	11：00	県アイバンク協会寄付金贈呈式	20	火	13：00	日医理事打合会 (日医TV 会議)	
		17：30	治験審査委員会 (Web会議)			13：30	看護学校の遠隔授業に 関する検討会 (Web会議)	
		18：30	第12回常任理事協議会			14：00	日医理事会 (日医TV会議)	
		19：00	各専門分科医会長会	21	水			
7	水	19：00	県プライマリ・ケア研究会学術 広報委員会	22	木			
		19：00	県周産期医療協議会					
8	木	19：30	県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	23	金	14：30	県がん診療連携協議会	
						15：00	(日医)日医医師会共同利用施 設検討委員会 (山村副会長)	
9	金	19：00	県新型コロナウイルス感染症対策協議会	24	土			
10	土	14：00	九医連常任委員会 (日医TV会議)	25	日			
		15：00	九医連第1回各種協議会 (日医TV会議)	26	月	19：00	介護保険委員会 (Web会議)	
11	日							
12	月	19：00	医療従事者向け認知症対応力向 上研修会 (Web会議)	27	火	13：30	宮大経営協議会・学長選考会議	
		19：00	広報委員会 (Web会議)			18：00	九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会	
13	火	13：15	県議会新型コロナウイルス等感染 症対策特別委員会調査			18：15	医協理事会	
		19：00	第13回常任理事協議会			19：00	第9回全理事協議会	
14	水	9：30	県による公益法人立入検査			終了後	医協理事・運営委員合同協議会	
		16：00	支払基金幹事会	28	水	15：00	労災診療指導委員会	
15	木							
16	金	13：30	県障害者施策推進協議会	29	木	11：30	都道府県医師会小児在宅ケア担 当理事連絡協議会 (日医TV会議)	
		15：00	(日医)日医医療秘書認定試験 委員会			14：00	小児在宅医療に関する人材養成 講習会 (日医TV会議)	
		15：00	県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 (Web会議)			19：00	県医療事故調査支援団体連絡協 議会・県医医療事故調査支援委 員会合同会議	
		19：00	生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研 修会) (TV会議)			19：00	医師国保組合理事会	
				30	金	16：00	都道府県医師会新型コロナウイ ルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)	
				31	土	14：30	産業医研修会 (実地)	
						15：30	全国医師会医療秘書学院連絡協 議会 (Web会議)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年9月29日

11			月		
1	日	10:00 eレジフェア(Web会議)	16	月	19:00 自殺対策うつ病研修会(Web会議)
2	月				
3	火	(文化の日) 10:00 日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会(Web会議)	17	火	13:00 (日医)日医理事打合せ 13:30 (日医)日医理事会 15:00 都道府県医師会長会議(日医TV 会議)
4	水		18	水	
5	木	13:15 県高齢者サービス総合調整推進 会議 15:00 県高齢者サービス総合調整推進 会議認知症施策部門	19	木	15:00 (日医)日医医療秘書認 定試験委員会 19:00 広報委員会 19:00 生活習慣病検診従事者 研修会(肺・乳・胃・大 腸がん検診研修会)(Web 会議)
6	金				
7	土	16:30 (東京)全国医師協同組合通常 総会			
8	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修制 度応用研修会(Web会議)	20	金	
9	月	19:00 在宅医療協議会研修会(Web会 議)	21	土	
			22	日	
10	火	17:30 治験審査委員会(Web会議) 18:30 第10回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師 会との意見交換会	23	月	(勤労感謝の日)
11	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会	24	火	18:15 医協理事会 19:00 第14回常任理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同 協議会
12	木	19:00 医協会計監査 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	25	水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会
			26	木	
13	金	14:00 県訪問看護推進協議会 15:00 宮崎地方労働審議会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会(TV会議)	27	金	16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス 感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)
14	土	10:00 全国学校保健・学校医大会 (Web会議)	28	土	10:00 九医連委員・九州各県役員合同 協議会 13:00 九州医師会総会・医学会
15	日		29	日	8:30 九医学分科会
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			30	月	

国
保
社
保
審
査
審
査

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。

【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和2年度宮崎県 医師会園医部会総 会・研修会 (Web講習会) 10月1日(木) 19:00～20:10 県医師会館 ※受講はWebのみ	予防接種最新情報2020 ～新しく定期接種となるロタウイルスワクチンとワクチンの接種間隔の変更を含めて～ つむら診療所 副院長 久留米大学小児科 非常勤講師 津村 直幹	11 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会園医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第227回宮崎県泌尿 器科医会 (Web講習会) 10月1日(木) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」 ※受講は現地また はWeb	前立腺癌標準治療を考える～CSPCとリンパ節廓清～ 産業医科大学医学部 泌尿器科学講座 教授 藤本 直浩	15 (1.0)	◇主催 宮崎県泌尿器科医会 ◇共催 アストラゼネカ(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿 器科内宮崎県泌尿器 科医会 ☎0985-85-2968
延岡医学会学術講 演会 10月2日(金) 19:00～20:10 エンシティホテル 延岡	左室リモデリング抑制と心不全に潜む冠微小循環障害 への挑戦 熊本大学 生命科学研究部循環器内科学 教授 辻田 賢一	24 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会(Web講習会) 10月9日(金) 19:00～20:00 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	抗血栓薬起因性消化管傷害の治療戦略 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科 部長 坂本 知浩	50 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 武田薬品工業(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第190回宮崎県眼科医会講習会 (Web講習会) 10月10日(土) 16:30～18:40 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb 参加費:3,000円	滲出型加齢黄斑変性に対する治療アップデート ～ベオビュは特効薬となりうるか～ 関西医科大学 眼科学教室 講師 大中 誠之	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)
	ぶどう膜炎難治症例の考え方 九州大学医学研究院 眼科学 教授 園田 康平	36 (1.0)	
医療従事者向け認知症対応力向上研修会(Web講習会) 10月12日(月) 19:00～20:30 県医師会館2階研修室 ※受講はWebのみ	医療従事者向け認知症対応力向上研修会 野崎病院 認知症疾患医療センター 倉増 亜紀	13 (0.5) 29 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
佐土原地区医師会学術講演会 10月14日(水) 19:00～20:10 シーガイアコンベンションセンター	超高齢社会における慢性疼痛治療 ～デュロキセチン処方のポイント～ 獅子目整形外科病院 院長 獅子目 享	60 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎大学医学部附属病院2020年度医療安全管理講演会 10月15日(木) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附属病院臨床講義室 205	【専門医共通講習－②医療安全(必修): 1単位】 新型コロナウイルス感染症について ～新たに気づいたこと～ 宮崎大学 学長 池ノ上 克	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-9795
宮崎県医師会産業医研修会 10月15日(木) 19:00～21:00 県医師会館	両立支援の実際 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会: 2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和2年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会(がん検診指定研修会)【TV会議】 10月16日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場: 都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	肺がん検診 宮崎大学医学部 放射線科 講師 中田 博 ----- コロナ禍の乳がん診療 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科部長 大友 直樹 ----- 胃がんの基礎知識 宮崎大学医学部 消化器内科 副科長 稲津 東彦 ----- 局所進行大腸癌の治療 宮崎大学医学部 外科学講座 准教授 池田 拓人	7 (0.5) ⑦ 11 (0.5) ⑧ 12 (0.5) ⑨ 82 (0.5) ⑩	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和2年度かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (Web講習会) 10月17日(出) 14:00～17:30 県医師会館2階研修室 ※受講はWebのみ	かかりつけ医の役割 県南病院 認知症疾患医療センター センター長 藤元 ますみ	4 (0.5) 29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	診断と治療 県南病院 精神科 精神保健指定医 蛭原 攻介	12 (0.5) 29 (1.0)	
	連携と制度 宮崎県福祉保健部 長寿介護課 医療・介護連携推進室 橋本 俊和	13 (0.5) 29 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月20日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第31回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 10月31日(土) 15:25～19:00 シーガイアコンベンションセンター 参加費：1,000円 【延期】	関節リウマチにおける骨関節破壊機序とその対策 大阪大学 医学系研究科運動器再生医学共同研究講座 特任講師 蛭名 耕介	1 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118
	骨粗鬆症の診断と治療 ～外来診療におけるピットフォール～ 産業医科大学医学部 整形外科学 教授 酒井 昭典	59 (0.5) 77 (0.5)	
	画像データから考える変形性膝関節症の治療戦略 京都府立医科大学 医学研究科運動器機能再生外科学 教授 高橋 謙治	61 (0.5) 62 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
西臼杵郡医師会学 術講演会 (Web講習会) 11月5日(木) 19:00～20:00 高千穂中央公民館 ※受講はWebのみ	不整脈薬物治療ガイドライン2020 ～心房細動に関して～ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 科長	42 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※ブリストル・マイ ヤーズスクイブ(株) ☎090-6036-4990 ファイザー(株)
第63回宮崎県スポ ーツ学会 11月7日(土) 15:00～18:30 県医師会館 参加費:1,000円	剣道におけるスポーツ医・科学の活用 専修大学文学部 ジャーナリズム学科 教授	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツ現場における医療～レガシーと未来～ 順天堂大学 スポーツ医学 教授	1 (0.5) 10 (0.5)	高澤 祐治
	宮崎県でみられる感染症とスポーツ時の対策 宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染病態学分野 教授	8 (0.5) 11 (0.5)	岡山 昭彦
宮崎県医師会産業 医研修会 11月10日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 生涯研修の実地研修会:2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
			江藤 敏治

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月13日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月18日(水) 19:00～21:00 県医師会館	建設現場における死亡災害の実態とせき損等職業性外傷 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 研究グループ部長 高木 元也 生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和2年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会) (Web講習会) 11月19日(木) 19:00～21:00 県医師会館 ※受講はWebのみ	肺がん検診 宮崎大学医学部 放射線科 講師 中田 博 ----- コロナ禍の乳がん診療 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹 ----- 胃がんの基礎知識 宮崎大学医学部 消化器内科 副科長 稲津 東彦 ----- 局所進行大腸癌の治療 宮崎大学医学部 外科学講座 准教授 池田 拓人	7 (0.5) ① 11 (0.5) ② 12 (0.5) ③ 82 (0.5) ④	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎大学医学部附属病院2020年度感染対策講演会 11月27日(金) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附属病院臨床講義室205	【専門医共通講習－②感染対策(必修): 1単位】 当院における感染対策2020 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 岡山 昭彦	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院感染制御部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-9795
第120回九州医師会 医学会 11月28日(土) 14:00～16:10 シーガイアコンベンションセンター	寿命の鍵を握るテロメアの謎を解く ～ヒトテロメア分子機構の解明及び診断・治療の開発～ 宮崎大学医学部 機能制御学講座物質科学分野 教授 徐 岩	3 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 九州医師会医学会
	宮崎の強み: 本格焼酎の魅力 ～製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体質まで～ 宮崎大学 副学長・理事 水光 正仁	0 (1.0)	
第120回九州医師会 医学会第10分科会 泌尿器科学会/第229 回宮崎県泌尿器科 医会 11月28日(土) 16:30～19:00 シーガイアコンベンションセンター	日本臨床泌尿器科医会講演 瀬尾クリニック 院長 瀬尾 一史	7 (0.5)	◇主催 宮崎県泌尿器科医会 (連絡先) みのだ泌尿器科医院 ☎0985-54-7171
	泌尿器腫瘍における新規治療薬にかかる医療費を考察する 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 講師 寺田 直樹	7 (0.5)	
	腹腔鏡技術認定制度について 秋田大学医学系研究科 腎泌尿器科学講座 教授 羽瀨 友則	7 (0.5)	
	泌尿器腹腔鏡手術の実際 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 准教授 向井 尚一郎	7 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第4分科会 整形外科学会 11月28日(土) 17:45～18:45 シーガイアコンベンションセンター	医療安全における実地診療で注意すべき運動疾患 ～診療で落とし穴に入らないために～ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 帖佐 悦男	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118
第120回九州医師会 医学会第2分科会 小児科学会/第73 回九州小児科学会 (Web講習会) 11月29日(日) 8:30～12:10 シーガイアコンベンションセンター ※受講はWebのみ	小児科診療と在宅医療 おがた小児科内科医院 医療型特定短期入所施設かぼちゃんクラブ 理事長 緒方 健一	72 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 九州小児科学会 ◇共催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	レセプト審査の現状と今後 社会保険診療報酬支払基金福岡支部 医療顧問 高木 誠一郎	6 (0.5) 9 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第9分科会 眼科学会 11月29日(日) 9:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター	視神経疾患ケーススタディ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 准教授 中馬 秀樹	36 (1.5)	◇主催 宮崎県眼科医会 (連絡先) 宮崎県眼科医会事務局 ☎0985-28-1015
	視覚障害を支援するためのデバイスの開発と応用 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 教授 池田 康博	36 (1.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第3分科会 外科学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 【中止】	私の考える外科医の学生・若手医師教育 宮崎大学医学部 外科学講座肝胆膵外科学分野 教授 七島 篤志	1 (1.0)	◇主催 九州医師会医学会第3分科会外科学会 ◇共催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100
	労基署立ち入りから3年半 好生館は変わったか？ 佐賀県医療センター好生館 館長 佐藤 清治	0 (0.5)	
		6 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第5分科会 産科婦人科学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 【中止】	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)：1単位】 臨床遺伝について知っておきたいこと 宮崎大学医学部附属病院 産婦人科 病院教授 山口 昌俊	3 (1.0)	◇主催 宮崎県産科婦人科学会 ◇共催 宮崎県産婦人科医会 (連絡先) 宮崎県産科婦人科学会事務局 ☎0985-22-5118
	婦人科疾患における腹腔鏡下手術の進歩 石川県立中央病院 産婦人科 部長 総合母子医療センター 部長 干場 勉	0 (0.5)	
		53 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第11分科会 透析学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター	臨床医から見たファブリー病 霧島記念病院 副院長 中尾 正一郎	31 (0.5)	◇主催 宮崎県透析医会 (連絡先) 宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座 ☎0985-85-0872
		51 (0.5)	
	尿沈渣検査からみつけるファブリー病 ～マルベリー細胞・小体の検出～ 九州大学病院 検査部 主任 川満 紀子	38 (0.5)	
		53 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第8分科会 皮膚科学会/第30回 皮膚の日講演会 11月29日(日) 12:00～17:00 シーガイアコンベン ションセンター	一人の教師として・人間として 講師 齋藤 正健	72 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県皮膚科医会 日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 日本臨床皮膚科医会 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK 日本医師会 (連絡先) フタバ皮膚科形成外科医院 ☎0985-53-8877
	土呂久の記録者として 講師 川原 一之	11 (1.0)	
	ヒ素中毒の経過と転帰～土呂久ヒ素中毒を中心に～ 青木皮膚科 出盛 允啓	12 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 12月2日(水) 19:00～21:00 県医師会館	精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5)	
		69 (0.5)	
		70 (0.5)	
令和2年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 12月12日(土) 15:00～17:00 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 南那珂，西諸】	肺がん検診 宮崎大学医学部 放射線科 講師 中田 博	7 (0.5) ⑦	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	コロナ禍の乳がん診療 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹	11 (0.5) ⑧	
	胃がんの基礎知識 宮崎大学医学部 消化器内科 副科長 稲津 東彦	12 (0.5) ⑨	
	局所進行大腸癌の治療 宮崎大学医学部 外科学講座 准教授 池田 拓人	82 (0.5) ⑩	

医師資格証を持ちましょう

「医師資格証」はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン



地域医療連携内での
診療情報提供書への
HPKI電子署名
(平成28年診療報酬改定におい
て加算を算定することが可能)

電子処方せん発行時の
HPKI電子署名に使用



日医生涯教育制度、認定
医、かかりつけ医など各
種研修時の受講履歴、
取得単位管理に使用

地域医療連携システムへ
のログイン認証



医師資格証ポータル
サイトの利用



治験データへの
HPKI電子署名



文書交換サービス
の利用



身分証としての活用
JAL DOCTOR登録制度
などへの任意登録に使用
する
※医師資格証を身分証として活用で
きるように各企業、行政機関に働き
かけを行なっています



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmaca.med.or.jp/>



診療メモ



閉塞隅角緑内障における禁忌薬剤について

宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野 助教 ひだか たか こ
日 高 貴 子

1. はじめに

緑内障の定義として、日本緑内障学会の「緑内障診療ガイドライン（第4版）」には、「緑内障は、視神経と視野に特徴的変化を有し、通常、眼圧を十分下降させることにより視神経障害を改善もしくは抑制しうる眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患である」と記載されています。緑内障の種類は大きく「開放隅角緑内障」と「閉塞隅角緑内障」に分かれ、閉塞隅角緑内障では抗コリン作用のある薬剤などを使用すると急に眼圧が上昇する「急性緑内障発作」を起こすことがあります。本稿では閉塞隅角緑内障について、またその禁忌薬について概説いたします。

2. 開放隅角緑内障と閉塞隅角緑内障

眼房水は図1のように毛様体から産生され隅角、シュレム管へと流出します。隅角が広くても房水の流出路抵抗が増大し眼圧上昇するタイプを開放隅角緑内障、隅角が狭く塞がりやすいため眼圧が上昇して緑内障を生じるタイプを閉塞隅角緑内障といいます（図2）。本邦の緑内障疫学調査として有名な多治見スタディでは、緑内障の病型別の有病率は開放隅角緑内障で3.9%、閉塞隅角緑内障で0.6%と開放隅角緑内障の方が多い結果となっています。

3. 急性緑内障発作

閉塞隅角緑内障は発症速度により、急性型と慢性型に分類されます。急性閉塞隅角緑内

障を「急性緑内障発作」といい、隅角の閉塞により40～80mmHgほどの急激な眼圧上昇がみられます。もともと隅角が狭い患者に抗コリン作用などの散瞳する作用をもつ薬剤を投与することが契機となり、急性緑内障発作を生じることがあります。その他として暗所やうつむき姿勢などが急性緑内障発作の原因として挙げられます。

4. 閉塞隅角緑内障の禁忌薬剤

抗コリン作用のある薬剤：

抗不安薬（BZ系）、抗うつ薬（三環系・四環系）、抗てんかん薬（BZ系）、抗パーキンソン薬（抗コリン薬）、抗不整脈薬、感冒薬（抗ヒスタミン薬）、鎮咳薬（抗ヒスタミン薬）、アレルギー用薬（抗ヒスタミン薬）、鎮痙薬（抗コリン薬）、鎮暈薬（抗ヒスタミン薬）、排尿障害治療薬（抗コリン薬）

交感神経刺激作用のある薬剤：

抗パーキンソン薬（レボドパ）、鎮痛薬（麦角アルカロイド）

その他：狭心症薬（硝酸薬）

5. 急性緑内障発作の症状と治療

急性緑内障発作を起こした場合、急な目のかすみや視力低下、充血、眼痛、頭痛や嘔吐があり、脳や消化器疾患などと間違われ目の治療が遅れることもあります。治療が遅れると高眼圧のため眼循環障害をきたし重篤な視機能障害を残すこともあるため、適切な診断

と治療が必要になります。急性緑内障発作の治療は非観血的治療として抗緑内障点眼、アセタゾラミド（ダイアモックス）内服、D-マンニトールなど高張浸透圧薬の点滴、縮瞳させるためピロカルピン（サンピロ）点眼などを使用します。観血的治療としてはレーザー虹彩切開術、隅角を開大させる目的で行う白内障手術などがあります。

6. 眼科医とかかりつけ医との連携について

内科や精神科などのかかりつけ医で患者様が「自分は緑内障である」と申し出たとして

も、開放隅角緑内障か閉塞隅角緑内障かまで把握していることは非常に少ないと考えられます。開放隅角緑内障である場合、閉塞隅角緑内障の禁忌薬剤を使用しても基本的に眼圧上昇は起こらないと考えられます。宮崎県眼科医会では緑内障連絡カードを作成しており、緑内障の病型や閉塞隅角緑内障の禁忌薬一覧、禁忌薬使用が可能かなどが記載してあります（図3）。緑内障連絡カードの持参がない場合は各かかりつけの眼科に問い合わせをよろしくお願いいたします。

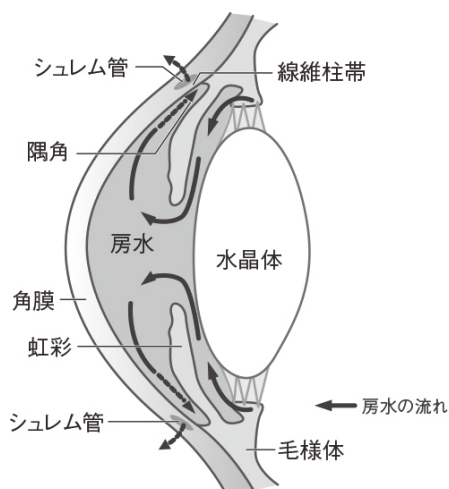


図1 開放隅角

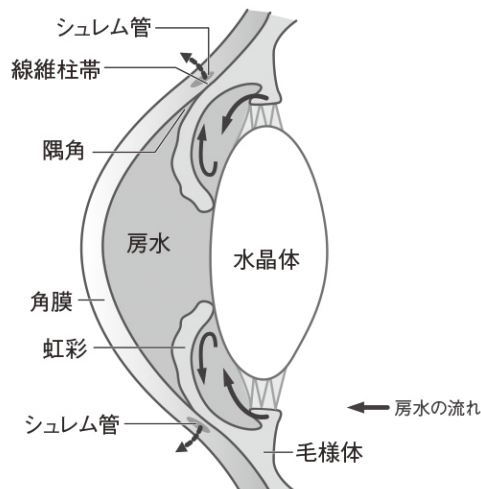


図2 閉塞隅角

緑内障連絡カード	
患者様	
医療機関名	
住 所	
電 話 番 号	
医 師 名	
宮崎県眼科医会	
緑内障禁忌薬一覧	
抗コリン作用のある薬 抗不安薬(BZ系) 抗うつ薬(三環系・四環系) 抗てんかん薬(BZ系) 抗パーキンソン薬(抗コリン薬) 抗不整脈薬 感冒薬(抗ヒスタミン薬)	抗コリン作用のある薬 鎮咳薬(抗ヒスタミン薬) アレルギー用薬(抗ヒスタミン薬) 鎮痛薬(抗ヒスタミン薬) 鎮痙薬(抗コリン薬) 排尿障害治療薬(抗コリン薬)
交感神経刺激作用のある薬 抗パーキンソン薬(レボドパ) 鎮痛薬(麦角アルカロイド)	その他 狭心症薬(硝酸薬)

緑内障（前駆病変を含む）の治療または経過観察中です。	
緑内障の病型 ☐ 開放隅角：内服や注射により緑内障発作が生じる危険なし。 ☐ 閉塞隅角：緑内障発作の危険があり、薬の使用に制限がある。眼科医療機関へご相談ください。 （虹彩切開術または白内障手術） ☐ その他の病型：備考欄を参照、または眼科医療機関へご相談ください。	
備考欄	
なお、ステロイド薬は緑内障の病型にかかわらず、眼圧上昇の危険があります。ステロイド薬を使用する場合は、定期的な眼科検診が必要です。	
記入日 年 月 日	緑内障の病型は、経過中に変化する可能性がありますので、概ね1年毎に病型の再評価が必要です。

図3 緑内障連絡カード

宮大医学部学生のページ



研究室配属について

宮崎大学医学部 医学科3年 くわ やま はな か
桑 山 英 華

7月の約1か月間、私は救急・災害医学講座で研究室配属実習をさせていただきました。この1か月間の実習で私が学んだり感じたりしたことをご報告いたします。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、まずはじめに研究室配属とはどのような実習かについてのお話をさせていただきます。この研究室配属では、医学科の3年生全員が、それぞれ希望する分野の研究室に約1か月間所属し、実際に研究をしたり臨床の現場を見学させていただいたりします。選択できる研究室は、解剖学や生理学、生化学などの基礎科目や、整形外科や救急などの臨床科目があります。その中で私は今回、救急・災害医学分野を選択しました。

私が研究室配属で救急を選択した最初の理由を正直に申し上げますと、5割ほどはドラマ『コード・ブルー』への憧れの気持ちからでした。ですが実際に救急の現場を見学するにつれて、次第に私はドラマではなく現実の救急医療に魅力を感じ、興味を惹かれるようになっていきました。それくらいこの実習は私にとって刺激的なものでした。

救急分野の実習内容は主に宮崎大学医学部附属病院でカンファレンスや回診に参加させても

らったり、外来を見学させていただいたりすることでした。その他にもドクターヘリやドクターカーの同乗体験や夜勤体験、大学外の病院の見学などをさせていただきました。特に、学生のうちにドクターヘリに乗ることができる機会はこの研究室配属のみなので、本当に良い経験となりました。

今回の実習での私の研究テーマは「宮崎県における病院前診療の現状と課題」でした。そこで私は大学病院と、大学以外の3つの病院のそれぞれの病院前診療への取り組み方についてさまざまな角度から調べてみました。そこから見てきたのは、宮崎県の救急医療は人員不足の状態にあるということでした。病院前診療に残された大きな課題の一つに、ドクターヘリが15分以内にたどり着くことができない地域が存在があります。この問題を救急医を増やさずに解決するのはとても難しいことなのではないかと思います。ではなぜ救急医は少ないのだろうかと考えたときに、「救急はきつそう」というイメージが真っ先に浮かび上がりました。そこで本当に救急医のお仕事はきついのか、救急の先生方にアンケートを取らせていただきました。結果から、私たち学生が思っているより救急科は

きつい科ではないということが分かりました。シフト制・チーム制を導入している大学病院の先生方からは、他科の主治医制よりも良いという声もありました。当然考え方は人それぞれだと思いますが、勤務体系も踏まえたうえで将来働く科を選択することも重要なのだということが分かる、とても興味深い調査となりました。

外来の見学では、救急科がいかに生死に直結している診療科であるかを痛感しました。学生のうちには目にすることの少ない辛い場面に立ち会い、私が目指している医師という職業の重さがどれほどのものなのかを実感し、涙を流したこともありました。3年生という比較的早い段階でこのような貴重な経験をさせていただいたことは、これからの私の人生において大きな強みとなるだろうと思います。

この1か月間は私のこれまでの人生の中で、最も濃い1か月間となりました。この1か月で

本当にさまざまなことを感じ、考え、悩んだことは、今後私の財産として生きていくと思います。医師の仕事は、患者さんの生死や今後の人生だけでなく、ご家族の方々の人生にも大きく関わる、非常に厳しい仕事です。しかしその分自分の努力が人の役に立つ、非常にやりがいのある仕事なのだということがよく分かりました。

最後になりましたが、このような充実した1か月間を過ごすことができたのは、落合教授をはじめ、宮崎大学医学部附属病院救急科の先生方、大学外の各病院でお世話になった先生方、事務の方、そして一緒にこの研究室配属実習を行った同期の学生も含むすべての方々のおかげだと思います。本当にありがとうございます。次にお会いするときはもっと成長した姿をお見せできるように、これからも日々医学の勉強に励んでいきたいと思っています。



救急センターのヘリポートにて

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月31日	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（SARS-CoV-2を含む。）の保険適用に伴う新型コロナウイルス感染症に係る関連通知等の取扱いについて ・令和2年7月豪雨による災害に伴う被保険者証等の提示等における取扱いについて ・特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第三条第二項の規定に基づき同条第一項の特定権利利益に係る期間の延長に関し当該延長後の満了日を令和二年十二月二十八日とする措置を指定する件について ・令和2年7月豪雨による災害に伴う診療録等の文書の保存に係る取扱いについて
8月3日	・総務省「死因究明等の推進に関する取組に係るアンケート調査の結果」の公表について ・「体罰等によらない子育てのために」広報啓発ポスター及びリーフレットの送付について ・毎月勤労統計調査（第二種事業所）への調査協力依頼について
8月4日	・厚生労働省・経済産業省「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等における新型コロナウイルス感染症に関する流行地域について ・令和2年7月豪雨に伴う負担割合証並びに高額介護サービス費等の支給及び特定入所者介護サービス費等の負担限度額認定等の運用について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その24）」の送付について ・共済組合員証の亡失についてのお知らせ
8月5日	・保健衛生業及び陸上貨物運送事業に対する腰痛予防対策講習会の周知について ・エイジフレンドリー補助金の周知について ・入院医療提供体制に関する通知及び事務連絡の今後の取扱いについて ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その5） ・令和元年度 販売情報提供活動監視事業報告書について
8月6日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・「麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の公布について（通知）」の訂正について ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴うモダフィニル製剤（モディオダール錠100mg）の経過措置期間の延長について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について ・「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表“メディカルコントロール協議会による日常的な教育に関わる取組（質の担保・方法）”」の募集について

送付日	文 書 名
8月7日	・新型コロナウイルス感染症に伴い接種率低下が懸念される定期の予防接種の対象者への周知及び勧奨について ・令和2年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・令和2年度 がん教育研修会の中止について ・新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる患者の取扱いについて ・組換え沈降B型肝炎ワクチン（酵母由来）「ヘプタバックス-II 水性懸濁注シリンジ0.25ml」の供給再開について ・新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大を見据えたPCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言について ・医療機関における院内感染対策のための自主点検等について ・令和2年度 院内感染対策講習会について ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その5） ・総務省による平成31年度「電波の植込み型医療機器及び在宅医療機器等への影響に関する調査等」報告書について
8月11日	・母子保健医療対策総合支援事業における令和2年度 第二次補正予算に係るQ & A（令和2年7月20日時点）について ・検査料の点数の取扱いについて ・令和2年7月豪雨による被災に伴う診療報酬の請求の取扱いについて ・令和2年度 ジェネリック医薬品軽減額通知の実施について
8月12日	・防災推進国民大会2020の開催について ・医療用物資の備蓄体制の強化および医療機関等における医療用物資の緊急時への対応について（その4）について ・厚生労働省「国民の健康と安心につなげるための医療機関・医療従事者支援策」のパンフレットについて ・厚生労働省が運営する医療人材の求人情報サイト「医療のお仕事 Key-Net」の周知への御協力をお願いについて ・高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検について ・介護施設等への布製マスクの配布希望の申出について ・新型コロナウイルス感染症対策 医療機関向けガイドラインの策定並びに新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施医療機関「みんなで安心マーク」の発行について ・厚生労働省「医療的ケア児等医療情報共有システム（MEIS）」の運用開始について ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告の取扱いについて ・「病原微生物検出情報」の送付について ・令和2年7月豪雨に伴う災害により被災した被保険者に係る介護保険の第一号保険料の減免に対する財政支援の基準等について ・令和2年7月3日からの大雨による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて（7月サービス提供分） ・令和2年7月豪雨による被災に関する労災診療費等の請求の取扱いについて ・独立行政法人福祉医療機構の一般診療所（無床）等への融資基準となる令和2年度 診療所数調について ・令和2年医療施設静態調査、患者調査及び受療行動調査の実施通知等について

送付日	文 書 名
8月14日	・患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その25）」の送付について ・医療的ケア児者の人工呼吸器に必要な衛生用品等の優先配布事業について ・高齢者施設における新型コロナウイルス感染者発生時の検査体制について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療所における一般病床の届出設置に係る手続きの取扱いについて
8月18日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その26）」の送付について ・「医療法の一部を改正する法律の一部の施行について」及び「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について
8月19日	・「臨床研究法施行規則の施行等について」の一部改正について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その27）」の送付について ・「医療法の一部を改正する法律の一部の施行について」の一部改正について及び「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について（HACCPに沿った衛生管理、食品衛生責任者の選任及び営業の届出の件等） ・令和2年度 医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果および名簿の送付について ・医療機関における新型コロナウイルス感染者発生時の行政検査について ・新型コロナウイルス感染症患者重点医療機関における新型コロナウイルス感染症疑い患者の取扱いについて ・医療機関における院内感染対策に関する通知文書について ・「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）を活用した感染症発生動向調査について」に関するQ & Aについて
8月20日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その28）」の送付について
8月21日	・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第14報） ・新たに薬事承認・保険収載された新型コロナウイルス感染症に係る抗原検査の取り扱いについて ・病院、診療所又は助産所と産後ケアセンターとの併設等について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・新型コロナウイルス感染症に対するファビピラビルに係る観察研究の概要及び同研究に使用するための医薬品の提供に関する周知依頼について（その4）
8月24日	・オシメルチニブメシル酸塩製剤の使用にあたっての留意事項について ・8月以降における熱中症予防対策の徹底について ・石綿障害予防規則等の一部を改正する省令等の施行について ・医療ガスの安全管理について
8月25日	・新型コロナウイルス感染症が発生した場合における情報の公表について（補足） ・「平成30年度 介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和2年度調査）への協力依頼について」の送付について ・介護医療院の開設状況（令和2年6月30日時点）について

送付日	文 書 名
8月26日	・「『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2020年8月6日Ver.3）』の周知について（依頼）」の送付について ・学校保健安全法に基づく就学時の健康診断及び児童生徒等の定期的健康診断について ・「食品衛生法等の一部を改正する法律の施行に伴う集団給食施設の取扱いについて」の周知について ・令和2年度食生活改善普及運動の実施について ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その6） ・オンライン資格確認で利用する顔認証付きカードリーダーの申込受付のお知らせについて ・WEB講習会に関するQ & A（2020.8.25改訂版）について
8月27日	・医療ガスの安全管理について ・令和2年度「防災週間」及び「津波防災の日」について ・オンライン診療に手話通訳者等が参加する場合の取扱いについて
8月28日	・宮崎県国民健康保険重複服薬者等訪問指導事業への御協力について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その29）」の送付について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査に関するQ & Aについて（その2） ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）で通知を受けた者に対する行政検査等について及び新型コロナウイルス感染症に係る行政検査に関するQ & Aについて（その2, その3） ・職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防、健康管理の強化について
8月31日	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者及び無症状病原体保有者の退院の取扱いに関する質疑応答集（Q & A）の一部改正について ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その6） ・介護医療院開設に向けた研修会の開催について ・介護保険事業（支援）計画における要介護者等に対するリハビリテーションサービス提供体制の構築に関する手引きについて ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴うwebによる認定健康スポーツ医制度再研修会の取扱いについて ・産前産後期間に係る国民年金保険料の免除の周知について

 あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	b, e	e	a	c	a, c	c	d	c	e

あとかき



しかしまだ日本以外では感染が落ち着く様子はなく、欧州に感染第2波が及んでおり、感染拡大抑制に向けた制限措置を再導入する動きも広がっていますし、インドも感染者が急増している様子が9/21の新型コロナウイルスの感染者数は52,000人に急増し、8/14以来の多さになっております。

日本でもコロナ感染を抑え込めても、今後の経済的ダメージは未知数と考えられ、アメリカ大統領選挙の結果や米中の対立、ワクチン開発成功の有無で世界経済も大きく揺れるのでしょうか。さまざまな社会構造の問題点があぶり出されており、感染症指定医療機関をはじめコロナウイルスを診察する病院がかえって赤字になるという医療経済の脆弱性についても今後構造的な変革が必要と考えられます。我々も自分でできることは積極的に行っていき、当編集会議でも使用中のZOOM（盛り上がりませんが）などを始めとしてデジタルトランスフォーメーションを（黒船来襲と諦め半ば強制的に）進めていってもらいたいと思っております。（菊池）

* * *

秋が深まってきました。今年の夏は旅行やキャンプどころか、プールやビアガーデンにも行けない寂しい夏になりました。コロナの勢いを見ると来年の夏も心配です。これから寒くなりインフルエンザとの同時流行が危惧されます。保健所や特定の公的病院だけでは対応できないと思われます。“発熱患者お断り”など許されません。国も対策に乗り出しているようですが、我々一人ひとりも地域医療を支えられるよう奮闘する必要があると思います。（稲倉）

* * *

受験の時期になりました。小学6年の長女は塾に行きたがらないので、最近は家に帰ると、私立中学のプレテスト対策を一緒にすることが日課になっています。昔と違い、最近の小学理科では、血液循環・食物の消化吸収・産科領域も学習要綱に入っているのに驚きました。とりあえずあと1か月勉強を頑張っしてほしいものです。（植田）

* * *

5年前の台風の際、うちのマンションでは、隣との隔壁が壊れるなどの被害がありました。今回の台風10号は過去最大級とのことで、例年以上に準備対策をして備えました。夜間は風雨の音が激しく、娘たちはリビングにテントを張って、キャンプ気分で一夜を過ごしていました。幸い家の方もクリニックも大きな被害なく、翌日からまた通常どおりの日常に戻り安堵しました。今後いろいろな災害が想定されますので、備えあれば憂いなしと準備を怠らないようにしたいと思います。（長井）

6月末以降のコロナ第2波は8月始めにピークを迎え現在全国500人前後/日の感染者報告はありますが、全体的には落ち着いてきた印象です。政府のGoToトラベル（東京以外）も大いに利用されている様子が、9月の3連休には観光地に多くの人出があった報道もあります。海外渡航は難しいとしても徐々に日常が戻ってきた感じです。

大淀川でシベリアチョウザメが釣れるというニュースを先月テレビで見ました。私の所属するウインドサーフィン部は、海の波が高い時などに大淀川の河口で練習することもあるので少し驚きました。エビやカニを食べるそうなので、襲われることはないだろうと頭では分かっていても、1mほどある生き物が水中にいたら少し怖くなってしまいます。本来は寒いロシアに住んでいるそうなので生態系に影響を与えないか心配です。（河野(太)）

* * *

9月に臨床実習前の共用試験であるCBTを受験しました。5月、7月の大学の臨床科目の試験から始まり、8月末のOSCE、そして今回のCBTです。今までで一番長い試験期間だったなと思います。新型コロナウイルスで友だちと打ち上げをしたり、ご飯を食べにいけないことが残念ではありますが、ひとまずCBTが無事に終わって良かったです。10月末からスチューデントドクターとして臨床実習に参加できることを願っています。（木村）

* * *

新型コロナウイルス感染症が始まってから9か月経ち、死者数は約1,500人に達しました。しかし、政府の人口動態統計によると令和元年の呼吸器系の死者数はインフルエンザ3,571人、肺炎95,498人、慢性閉塞性肺疾患17,827人、誤嚥性肺炎40,354人など、死者数の多い疾患は他にもあります。高齢者の命を守るにはコロナ対策以外にも多くある気がしないでもありません。（佐々木）

今月のトピックス

メディアの目 特別な夏を越えて

新型コロナウイルスが、スポーツ界にも大きく影響を及ぼしていることは周知の事実であり、春夏の甲子園が中止になったこともその一つです。読売新聞社 宮崎支局長の若松健一さんは、自身の甲子園出場経験から高校球児の気持ちを、甲子園の土に例えながら、スポーツは結果ではないことを伝えてくださっている気がします。

20ページ

診療メモ 閉塞隅角緑内障における禁忌薬剤について

専門領域以外の疾患への理解、特に禁忌薬に関しては、重要事項ではあるけれど、見落としてしまうことがあります。今回、閉塞隅角緑内障への禁忌薬に関して、宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野 助教 日高貴子先生に分かりやすく丁寧に教えていただきました。

66ページ

宮大医学部学生のページ 研究室配属について

宮大医学部では医学科の3年生は、希望する研究室に1か月間もの間、実習を行うことができるそうです。今年3年生の桑山英華さんは、救急・災害医学分野を選択し、その貴重な経験から得たものと、これからの将来へつなげる想いを語ってくれました。きっと素敵な医師になってくれると思います。

68ページ

日 州 医 事 第854号 (令和2年10月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail: office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔、植田 雄一、高橋 典子、菊池 英維、
石田 康行、長井 慎成

学 生 委 員 河野 太地、河野 真菜、横山慎太郎、木村 桃子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)